



入学試験要項

令和7年度(2025年度)

学校推薦型選抜(公募制)
一般選抜
大学入学共通テスト利用選抜
実技特別選抜

2025

受験生の皆さまへ

重要なお知らせがある場合はこちらに掲載します。

受験生応援サイト



目次

入試日程一覧	2
入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）	3
募集人員および取得可能な免許・資格等	6
サテライト試験場	8
入試特待制度について	10

入学試験要項 大学編

大学 教育学部／心理・福祉学部／文学部／人間栄養学部／看護学部／音楽学部

学校推薦型選抜（公募制）	16
一般選抜	18
大学入学共通テスト利用選抜	23
令和7年度 教育学部 教育学科スポーツ教育コース スポーツ実技について	26
令和7年度 文学部 文学科書道文化コース 書道実技試験について	26
実技特別選抜	27
令和7年度 音楽学部 音楽学科 音楽実技等課題	
〈学校推薦型選抜（公募制）〉	28
〈一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜、実技特別選抜〉	28
〈プロ・アーティストメジャー〉	29

入学試験要項 短期大学編

短期大学 保育科／総合文化学科

学校推薦型選抜（公募制）	34
一般選抜	35
大学入学共通テスト利用選抜	37
令和7年度 学校推薦型選抜（公募制） 小論文課題	39

出願について	41
1. 出願の流れ	41
2. 出願書類	42
3. 入学検定料	46
4. 出願方法	47
5. 出願上の注意事項	48
6. その他	48
■受験上・修学上の特別な配慮が必要な方へ	48
■試験当日の注意事項	50
■入試過去問題活用宣言について	50
■合格発表（合否確認方法）	50
■個人情報の取扱いについて／入学手続について	51
■入学前学習課題の実施、提出	52
■個別の入学資格審査について	53
■納付金・奨学金	54
■提携ローン	56
■「国の教育ローン」（日本政策金融公庫）／学生生活（フォーマルスーツ）	56
■学生寮	57
■昼間主と夜間主の授業等について	57
■長期履修学生制度＜短期大学＞	58

入試日程一覽

●各入試、サテライト試験場についての詳細は、本文を参照してください。

入試区分	日程〈方式〉	願書受付期間〔最終日必着〕	入試日	合格発表	入学手続期限 (消印有効)
学校推薦型選抜 (公募制)	前期 サテライト ※2	11月 1日(金)～11月11日(月) [Web登録:10月25日(金)から]	11月17日(日)	12月 2日(月)	12月13日(金)
	後期 (看護学部は実施しない)	12月 2日(月)～12月10日(火)	12月15日(日)	12月20日(金)	1月 8日(水)
一般選抜	A サテライト ※2	12月16日(月)～ 1月20日(月)	1月26日(日) 1月27日(月) いずれか1日もしくは両日を選ぶことができます	2月 4日(火)	一括納入時:2月12日(水) 二段階納入時 ^{※3} : 一段階目 2月12日(水) 二段階目 2月19日(水)
	B	2月 1日(土)～ 2月19日(水)	2月25日(火)	3月 1日(土)	3月10日(月)
	C	2月20日(木)～ 3月 5日(水)	3月10日(月)	3月14日(金)	3月19日(水)必着
大学入学共通テスト 利用選抜 ^{※1}	A	12月16日(月)～ 1月20日(月)	本学個別学力試験なし ただし、看護学部の面接、教育学部教育 学科スポーツ教育コース、音楽学部の 実技等1月26日(日)/1月27日(月)	2月12日(水)	一括納入時:2月19日(水) 二段階納入時 ^{※3} : 一段階目 2月19日(水) 二段階目 2月25日(火)
	B	2月 1日(土)～ 2月19日(水)	本学個別学力試験なし ただし、看護学部の面接、教育学部教育 学科スポーツ教育コース、音楽学部の 実技等2月25日(火)	3月 1日(土)	3月10日(月)
	C	2月20日(木)～ 3月 5日(水)	本学個別学力試験なし ただし、看護学部の面接、教育学部教育 学科スポーツ教育コース、音楽学部の 実技等3月10日(月)	3月14日(金)	3月19日(水)必着
実技特別選抜 (音楽学部 音楽学科のみ)	-	2月20日(木)～ 3月 5日(水)	3月10日(月)	3月14日(金)	3月19日(水)必着

※1 大学入学共通テストの成績を利用するため、本学個別の学力試験はありません。ただし、教育学部教育学科スポーツ教育コース・看護学部・音楽学部は上記の入試日に実技・面接等を行います。

※2 **サテライト** と記載のある入試は聖徳大学（松戸キャンパス）の他、サテライト試験場でも受験ができます。教育学部教育学科スポーツ教育コース、文学部文学科書道文化コース、看護学部、音楽学部は聖徳大学（松戸キャンパス）のみで実施します。ただし、音楽学部受験希望者で、聖徳大学 SOA 音楽研究センターの「音楽実技認定制度」において B 以上の認定を取得している受験生は、音楽実技等が免除となるため、学校推薦型選抜（公募制）および一般選抜のみサテライト試験場での受験が可能です（プロ・アーティストメジャーを除く）。

〈サテライト試験場〉

学校推薦型選抜（公募制）：仙台・郡山・水戸・さいたま・三田（東京都港区）・新潟・那覇

一般選抜 A 日程 [1/26 (日)]：仙台・水戸・さいたま・新潟

一般選抜 A 日程は、1/26 (日) のみサテライト試験場での試験を実施します。1/27 (月) はサテライト試験場での実施はありません。

※3 一般選抜 A 日程および大学入学共通テスト利用選抜 A 日程は、出願時に申請することにより、一段階目の期日までに入学金を納入し、その他の納付金は二段階目の期日までに支払うことができる二段階納入制度があります。詳細は大学 P.19 と P.24、短大 P.35 と P.37、P.48 を参照してください。

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

聖徳大学・聖徳大学短期大学部

聖徳大学・聖徳大学短期大学部は、総合大学という特質を活かして、変化の激しい社会を生き抜いていくための確かな人間性、どのような社会であっても不可欠な自己分析力、論理的思考力、自己管理能力、個別学問領域を超えたアイデアや洞察力と多面的な問題発見・解決力、そしてそれらを発揮して主体的にかつ協働して課題に取り組める、社会で発揮できる聖徳ならではの専門性の高い実践力をもつ人の育成を目指しています。

聖徳大学・聖徳大学短期大学部はこうした目的を理解し、それを達成できる資質をもった人を求めています。具体的には、次のような人を求めています。

1. 学びを通して、自己の成長を実現したいという強い意欲をもっている人。
2. 学びを通して、社会に貢献する夢をもっている人。
3. 学内外で必要なコミュニケーション力などの基礎を備えている人。
4. 授業に主体的、創造的、協働的に取り組むことができる人。

聖徳大学・聖徳大学短期大学部ではこのような人を受け入れるために、多様な受験機会を用意しさまざまな入学試験を行っています。こうした試験においては、各学科での学習に必要な技能、知識、基礎的な学力、主体的な判断力、創造的な考えを表現できる力、仲間と協働して学びを作っていく力などについて、書類審査(調査書、推薦書など)、実技試験、学力試験、面接などを組み合わせて総合的に評価します。

教育学部 児童学科

教育学部児童学科では、乳幼児に関わる専門的な実践力を持ち、主体的に地域社会に貢献できる人材を育成するために、次のような能力をもつ入学者を求めています。

1. 乳幼児の成長や発達に関心があり、乳幼児及びその保護者の心に寄り添うことができる人。
2. 自分を見つめ、自己の課題に向き合い、よりよい自分になるよう努力する人。
3. 心身ともに健全で、乳幼児や保護者、地域の人などと積極的に交流するとともに、各種実習等を継続できる人。
4. 学科における専門教育を学べる素養を備えた人。

教育学部児童学科では、このような人を受け入れるために多様な受験機会を用意し、様々な入学試験を行っています。こうした試験においては、本学科での学習に必要な意欲や学力、コミュニケーション力、課題解決力などについて、書類審査、作文や小論文、学力試験、面接などを多面的に組み合わせて総合的に評価します。

教育学部 教育学科

教育学部教育学科では、子どもに関わる専門性を基盤とした実践力を持ち、地域社会に貢献できる人材を育成するために、次のような能力をもつ入学者を求めています。

1. 子どもの成長や発達に関心があり、子どもの心に寄り添うことができる人。
2. 自己の人間性や教養を高め、調和ある社会の発展に貢献しようとする人。
3. 心身ともに健全で、子どもや保護者、地域の人などと積極的に交流するとともに、教育実習等を継続できる人。
4. 学科における専門教育を学べる素養を備えた人。

教育学部教育学科では、このような人を受け入れるために多様な受験機会を用意し、様々な入学試験を行っています。こうした試験においては、本学科での学習に必要な意欲や学力、コミュニケーション力、課題解決力などについて、書類審査、作文や小論文、学力試験、面接などを多面的に組み合わせて総合的に評価します。

心理・福祉学部 心理学科

心理・福祉学部心理学科は、建学の精神「和」を尊ぶ人間性教育の環境のもと、心理学の知識と技能をもって、他者と協働しながら課題を解決する力を備えた人材を育成するために、以下の資質をもった入学者を求めています。

1. 人や社会の現象に関心をもっている人。
2. これまでの学びを通して、心理学を学習するのに必要な知識、技能、論理的思考力、主体性をもっている人。
3. 演習や実習等に参加するために、他者と協働して取り組むことができる人。

4.心理学の知識と技能をもって、社会に貢献する意欲をもっている人。

心理・福祉学部心理学科ではこのような人を受け入れるために、多くの受験機会を設け、多種類の入学試験を行っています。こうした試験を通して、本学科では、学びに必要な基礎的な文章読解力や表現力、情報を収集したり活用したりする技能、自分の考えや感情を伝える力、周囲との協働力などについて、書類審査（調査書、推薦書など）、学力試験、小論文、作文、面接などによって多面的・総合的に評価します。

心理・福祉学部 社会福祉学科

現代社会の福祉ニーズに対応するための人材育成が急務となっています。心理・福祉学部社会福祉学科では、それに応えるため個人の尊厳と基本的な人権の尊重を基本として「一人ひとり」を支え、守り、育てる福祉・教育の専門職の養成を目指しています。

こうした目的を理解し、目的を達成できる資質を持った人を心理・福祉学部社会福祉学科では求めています。具体的には、次のような入学者を求めています。

- 1.主体的に福祉・教育を学習する意欲があり、授業に主体的、創造的、協働的に取り組むことができる人。
- 2.社会福祉の基礎的・基本的な知識・技能を習得しようと考えている人。
- 3.現代社会の課題に関心を持ち社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、養護教諭、保育士など福祉・教育の専門家として社会に貢献する夢を持っている人。

心理・福祉学部社会福祉学科では、多様な受験機会を用意しさまざまな入学試験を行っています。こうした試験においては、本学科での修学に必要な基礎学力、知識、技術、コミュニケーション力、他者と協働する能力などについて、書類審査、学力試験、小論文、作文、面接などを組み合わせて多面的・総合的に評価します。

文学部 文学科

文学部文学科は、建学の理念である「和」の精神を理解し、文学・文化・芸術に関する学問領域に興味を持ち、将来、心豊かな教養と気品を持った女性として、社会の各分野で活躍したいという基本的資質をもった人を求めています。具体的には以下のような入学者を求めています。

- 1.心豊かな女性として、気品ある行動を大切にできる人。
- 2.協調性、誠実性、自主性を備え、自分の考えや気持ちを表現するなど、多様な人々と協働する意欲がある人。
- 3.文学・文化・芸術に関する特定のテーマを掘り下げ深く学ぼうとする意欲がある人。
- 4.高等学校等での学びを通して、文学部文学科での学習に必要な知識、技能、思考力、学ぶ力を身につけている人。

文学部文学科では、このような人を受け入れるために多様な受験機会を用意しさまざまな入学試験を行っています。こうした試験においては、本学科での学習に必要な知識、技能、基礎的な学力、主体的な判断力、創造的な考えを表現できる力、仲間と協働して学びを作っていく力などについて、書類審査（調査書、推薦書など）、学力試験、面接などを組み合わせて総合的に評価します。

人間栄養学部 人間栄養学科

人間栄養学科は、建学の精神「和」を尊ぶ人間性教育の環境のもと、食生活上の課題や問題の本質を洞察する力、並びに創造的思考力と実践力、自律力を身につけ、科学的根拠に基づいた「栄養の指導」を実践できる管理栄養士を目指す基本的な資質を持った人を求めています。具体的には次のような入学者を求めています。

- 1.食と健康に強い関心を持ち、管理栄養士として社会に貢献したいという強い意欲と決意を持っている人。
- 2.自然科学が好きで、科学的なものの考え方ができる基本的な能力を身につけている人。
- 3.知的好奇心に満ち溢れ、常に向上心をもって努力できる人。
- 4.明朗活発で人との交流を大切に、人間性豊かで、礼節を重んじる人。

人間栄養学科では、このような人を受け入れるために、多様な受験機会を用意しさまざまな入学試験を行っています。こうした試験においては、本学科での学習に必要な科学的な知識・技能、基礎的な学力、主体的な判断力、創造的な考えを表現できる力、仲間と協働して学びを作っていく力などについて、書類審査（調査書、推薦書など）、学力試験、面接などを組み合わせて総合的に評価します。

看護学部 看護学科

看護学部看護学科では、本学の人間教育の実績を活かして、保健医療福祉分野に貢献できる看護専門職を育成するため、高い人間的資質と倫理性を備え、高度な医療と地域の看護に従事するために、看護への意欲を持つ人、他者と協働しながら課題に取り組むことを大切にする人、物事を冷静に論理的に捉えようと努力できる人の入学を求めています。具体的には以下の通りです。

- 1.看護への意欲をもつ人
 - 1)看護に関心があり、保健・医療・福祉分野に貢献したい人
 - 2)看護師・保健師の資格取得に向けて努力できる人
- 2.他者と協働しながら課題に取り組むことを大切にする人
 - 1)他者への思いやりがあり、人間の弱さを共感的に理解できる人

- 2) 他者の言葉に耳を傾け、気配りが行き届く優しい関係を築ける人
- 3. 物事を冷静に論理的に捉えようと努力できる人
 - 1) 生命の大切さ、人間の尊厳を理解できる人
 - 2) 文章読解力と冷静で的確な判断力をもった人

看護学部看護学科では、このような人を受け入れるために、多様な受験機会を用意しています。具体的には、書類審査（調査書、推薦書など）、学力試験、面接などを組み合わせて総合的に評価します。

音楽学部 音楽学科

音楽が社会や人をつなぐ豊かな絆であるということが再認識されています。音楽学部音楽学科では、そうした音楽の発展に音楽家として貢献できる人材を育成しています。そのような人材に必要な力はディプロマ・ポリシー*で示しています。

こうした目的を理解し、目的を達成できる資質をもった人を音楽学部音楽学科では求めています。具体的には、次のような入学者を求めています。

1. 音楽が好きで、音楽家、音楽教員や音楽療法士、音楽関連企業人として社会に貢献する夢をもっている人。
2. 音楽実技や理論など音楽に関する授業や音楽キャリアに関する授業に主体的、創造的、協働的に取り組むことのできる人。
3. 学内外での音楽活動や実習などで必要となるコミュニケーション力など基礎的な力をもっている人。

音楽学部音楽学科では、多様な受験機会を用意しさまざまな入学試験を行っています。こうした試験においては、本学科での学習に必要な音楽的な知識、技能、基礎的な学力、主体的な判断力、創造的に考え表現できる力、仲間と協働して学びを作っていく力などについて、実技試験、学力試験、面接などを組み合わせて総合的に評価します。

短期大学 保育科

保育科では、豊かな人間性を備えた保育者、理論と実践力を備えた保育者、地域に貢献できる保育者を養成することを教育目標として掲げ、教育目標の達成のために、充実した教育課程を編成しています。保育科の教育目標を理解し、カリキュラムの学習に積極的に臨む人を、受け入れます。

具体的には、次のような知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力や、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度、明確な目標をもつ人を求めています。

1. 教育、保育、福祉に関心をもち、保育者になる意欲がある。
2. 子どもや子どもを取り巻く環境に関心をもち、自分の考えを述べることができる。
3. 文章を理解し、考え、それをまとめる力、プレゼンテーション力を身につけている。
4. 身体表現、造形表現、音楽表現等の活動を積極的に楽しむことができる。
5. グループ学習、課外活動やボランティア活動等で、仲間と協働して学習ができる。

このような受験生を受け入れるために、多様な受験機会をもち、入学試験では、個別面接、書類審査（調査書、推薦書など）、学力試験などを組み合わせて総合的に評価します。

短期大学 総合文化学科

総合文化学科では、ディプロマ・ポリシー*の【学習成果】で示した目的を理解し、達成できる資質をもった人として、次のような入学者を求めています。

1. 二年間の学習を継続するための基礎知識をそなえ、学びを通して、自己の成長を実現したいという強い意欲をもっている人。
2. 文章を読解し表現する日本語運用力、数的処理を含む論理的思考力が認められる人。
3. ボランティア活動、サークル活動などの経験を通じて地域貢献への関心をもつ人。
4. クラブ活動等に主体的に参加し、他者と協働するコミュニケーション能力を備えた人。

総合文化学科ではこのような人を受け入れるために、多様な受験機会を用意し入学試験を行っています。こうした試験においては、本学科での学習に必要なコミュニケーション力、基礎的な学力、論理的な思考力、協調性、主体性などについて、書類審査（調査書、推薦書など）、学力試験、面接などを組み合わせて総合的に、かつ多面的に評価します。

※ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施に関する方針）は聖徳大学・聖徳大学短期大学部のホームページをご覧ください。

募集人員および取得可能な免許・資格等

	学 科	コ ー ス	※13 入 学 定 員	募 集 人 員					
				学校推薦型選抜		A 日 程		B 日 程	
				前期日程	後期日程	一般選抜	大学入学 共通テスト 利用選抜	一般選抜、 大学入学 共通テスト 利用選抜	
				指定校制 公募制等	公 募 制				
大 学	教育学部	児童学科 (昼間主・夜間主)	幼稚園教員コース 保育士コース 児童心理コース 児童文化コース(昼間主のみ) 医療保育コース(昼間主のみ)	昼間主 325	85	13	33	33	40
			夜間主 7	2		1	1	1	
	教育学部	教育学科 (昼間主・夜間主)	小学校教員養成コース 特別支援教育コース スポーツ教育コース(昼間主のみ)	昼間主 80	15	9	7	7	12
			夜間主 3	若干名		若干名		若干名	
	心理・福祉学部	心理学科		60	12	3	8	8	10
		社会福祉学科	社会福祉コース 介護福祉コース 養護教諭コース	80	17	3	11	11	12
	文学部	文学科	教養デザインコース 国際文化コミュニケーションコース 日本語・日本文学コース 書道文化コース 歴史文化コース 図書館情報コース	110	20	8	12	12	20
	人間栄養学部	人間栄養学科 (管理栄養士養成課程)		98	27	6	10	10	10
	看護学部	看護学科		80	40	—	18		12
	音楽学部	音楽学科	●音楽表現メジャー ●音楽教育メジャー ●音楽療法メジャー ●プロ・アーティストメジャー	40	13	2	6		4
短期大学	保育科 第一部 (昼間・2年制)	幼稚園教諭コース 保育士コース	89	34	6	6		3	
	保育科 第二部 (夜間・3年制)	幼稚園教諭コース 保育士コース	10	3	2	1		1	
	総合文化学科	図書館司書・ITコース 国際観光・ホテルコース フードマネジメントコース (フード・製菓) ファッション・造形デザインコース	50	20	5	5		3	

- ※ 1. 他の教員免許とあわせて取得する必要があります。[小学校教諭は幼稚園教諭または中・高等学校教諭、中・高等学校教諭(国語・英語)は小学校教諭、特別支援学校教諭は幼・小・中・高等学校教諭のいずれか、学校図書館司書教諭は小・中・高等学校教諭のいずれか]。
- ※ 2. 卒業後1年以上の実務経験が必要です。
- ※ 3. 卒業後、大学院において心理学その他の公認心理師となるために必要な科目を修めてその課程を修了するか、2年以上の実務経験が必要です。
- ※ 4. スポーツ教育コースのみ取得可能です。
- ※ 5. 児童心理コースのみ取得可能です。
- ※ 6. 社会福祉コース・養護教諭コースのみ取得可能です。
- ※ 7. 介護福祉コースのみ取得可能です。
- ※ 8. 指定科目の単位修得の上、保健師資格取得後に教育委員会へ所定の申請手続きをすることで資格を得ることができます。
- ※ 9. 指定科目の単位修得の上、保健師資格取得後に所定の申請手続きをすることで資格を得ることができます。
- ※ 10. [第一部]のみ取得可能です。
- ※ 11. カワイピアノグレードテスト(演奏)のみ。
- ※ 12. 指定科目の単位を履修する必要があります。
- ※ 13. 学科・コース・定員等は変更になる場合があります。

1. 教育学部児童学科<夜間主>、教育学科<夜間主>の授業は、月曜日～金曜日(18:00～21:10)、土曜日(13:00～21:10)に行われます。また、長期休業期間には、集中講義方式等を採用しています。短期大学保育科第二部の授業は、月曜日～金曜日(18:00～21:10)、土曜日(14:45～21:10)に行われます。なお、現場での教育実習等は、昼間に実施されます。
2. 教育学部児童学科<昼間主>、教育学科<昼間主>は、夜間の開講科目を一部履修することができます。教育学部児童学科<夜間主>、教育学科<夜間主>は、卒業に必要な単位を夜間および土曜日昼間の授業で修得することになります。また、昼間開講の授業から卒業所要単位の半分を上回らない範囲で単

C 日程 一般選抜、 大学入学 共通テスト 利用選抜		実技 特別 選抜	取得可能な免許・資格
24 若干名	—	—	● 幼稚園教諭一種 ▲ 小学校教諭一種*1 ▲ 特別支援学校教諭一種*1 ● 保育士 ● 社会福祉主事(任用資格)*12 ● 児童福祉司(任用資格)*2 ● 児童指導員(任用資格) ● 准学校心理士Aタイプ(学校教員・保育士類型) ● ピアヘルパー(受験資格) ● 認定心理士*5 ● 図書館司書 ● 学校図書館司書教諭*1 ● 学芸員 ● 社会教育主事(任用資格)*2 ● レクリエーション・インストラクター ● キャンプインストラクター ● カワイピアノグレードテスト(演奏)認定*11
6 若干名	—	—	● 小学校教諭一種 ▲ 幼稚園教諭一種*1 ▲ 中学校教諭一種(国語・英語)*1 ▲ 高等学校教諭一種(国語・英語)*1 ● 特別支援学校教諭一種*1 ● 学校図書館司書教諭*1 ● ジュニアスポーツ指導員(受験資格)*4 ● 初級/バラスポーツ指導員*4 ● 健康運動実践指導者(受験資格)*4 ● 児童福祉司(任用資格)*2 ● 児童指導員(任用資格) ● 准学校心理士Aタイプ(学校教員・保育士類型) ● 図書館司書 ● 学芸員 ● 社会教育主事(任用資格)*2 ● レクリエーション・インストラクター ● キャンプインストラクター
4	—	—	● 公認心理師(受験資格)*3 ● 准学校心理士Bタイプ(相談支援機関専門職類型) ● 認定心理士 ▲ 中学校教諭一種(社会) ▲ 高等学校教諭一種(地理歴史) ● 児童心理司(任用資格) ▲ 養護教諭一種 ● 児童福祉司(任用資格)*2 ● 児童指導員(任用資格) ● 社会教育主事(任用資格)*2 ● 図書館司書 ● 学校図書館司書教諭*1 ● 学芸員 ● レクリエーション・インストラクター ● キャンプインストラクター
6	—	—	● 社会福祉士(受験資格) ● 精神保健福祉士(受験資格) ● 養護教諭一種 ● 介護福祉士(受験資格)*7 ● 保育士*6 ● 高等学校教諭一種(福祉) ● 准学校心理士Aタイプ(学校教員・保育士類型) ● 社会福祉主事(任用資格) ● 児童福祉司(任用資格)*2 ● 児童指導員(任用資格) ● 社会教育主事(任用資格)*2 ● ピアヘルパー(受験資格) ● 図書館司書 ● 学校図書館司書教諭*1(養護教諭とあわせては取得不可) ● 学芸員 ● レクリエーション・インストラクター ● キャンプインストラクター
10	—	—	● 中学校教諭一種(国語・社会・英語) ● 高等学校教諭一種(国語・地理歴史・書道・英語) ● 学校図書館司書教諭*1 ● 図書館司書 ● 学芸員 ● 社会教育主事(任用資格)*2 ● レクリエーション・インストラクター ● キャンプインストラクター ● 日本語教員養成講座
3	—	—	● 管理栄養士(受験資格) ● 栄養士☆ ● 中学校教諭一種(家庭・保健) ● 高等学校教諭一種(家庭・保健) ● 栄養教諭一種 ● 学校図書館司書教諭*1 ● 食品衛生管理者(任用資格) ● 食品衛生監視員(任用資格) ● フードスペシャリスト(受験資格) ● 専門フードスペシャリスト(受験資格) ● 図書館司書 ● 学芸員 ● 社会教育主事(任用資格)*2 ● レクリエーション・インストラクター ● キャンプインストラクター
若干名	—	—	● 看護師(受験資格)☆ ● 保健師(受験資格) ▲ 養護教諭二種*8 ● 第一種衛生管理者*9 ● 社会福祉主事(任用資格)
若干名	若干名	—	● 中学校教諭一種(音楽) ● 高等学校教諭一種(音楽) ▲ 小学校教諭一種・二種*1 ● 学校図書館司書教諭*1 ● 社会福祉主事(任用資格)*12 ● ピアヘルパー(受験資格) ● 音楽療法士一種 ● 認定音楽療法士(受験資格) ● 図書館司書 ● 学芸員 ● 社会教育主事(任用資格)*2 ● レクリエーション・インストラクター ● キャンプインストラクター ● カワイピアノグレードテスト(演奏・指導)認定
若干名	—	—	● 幼稚園教諭二種 ● 保育士 ● 准学校心理士Aタイプ(学校教員・保育士類型) ● ピアヘルパー(受験資格) ● 図書館司書*10 ● カワイピアノグレードテスト(演奏)認定*11 ● 秘書士*10
若干名	—	—	● 幼稚園教諭二種 ● 保育士 ● 准学校心理士Aタイプ(学校教員・保育士類型) ● ピアヘルパー(受験資格) ● カワイピアノグレードテスト(演奏)認定*11
若干名	—	—	● フードスペシャリスト(受験資格) ● 専門フードスペシャリスト(受験資格) ● 図書館司書 ● 情報処理士* ● 秘書士* ● 観光実務士* ● データサイエンス・AI実務サポート ● ビジネス実務士*

位を修得することができます。ただし、免許状・資格の取得には、月曜日～土曜日の昼間の授業を履修しなければ単位が修得できない場合があります。

3. 取得免許・資格については、入学後、修得単位や時間割編成を見て、適宜選択して取得することになりますが、表中に記載の全ての免許・資格が卒業までに取得できるとは限りません。

4. 取得可能な免許状・資格は、卒業必修になっている免許状資格を除き、原則として2種類以内とします。なお、入学後(1年次)の成績が一定の水準以上に達した場合は3種類以上取得できます。(☆は卒業必修)

5. 教育学部児童学科〈夜間主〉、教育学部〈夜間主〉で次の免許・資格等を取得する場合は、昼間主の授業時間帯(9:00～17:55)の授業の履修が必要となります。

*特別支援学校教諭一種*1 *図書館司書 *学校図書館司書教諭*1 *学芸員 *社会教育主事(任用資格)*2

*レクリエーション・インストラクター *キャンプインストラクター

6. ▲印を付した教員免許状を取得するためには、所定科目の単位を他学科等で修得し教育委員会に申請する必要があります。

7. 教育学部児童学科〈コース制について〉

入試時点ではコースを決定する必要はありません。昼間主・夜間主のみ決定してください。2年次からコースを決定します。

8. 音楽学部音楽学科〈メジャー制について〉

・プロ・アーティストメジャー志願者

一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜および実技特別選抜のみで募集を実施します。総合型選抜または学校推薦型選抜で音楽学科に合格し、その後の一般選抜等を受験し、プロ・アーティストメジャーでの合格を目指すこともできます。

・プロ・アーティストメジャー以外のメジャー志願者

入試時点ではメジャーを決定する必要はありません。2年次からメジャーを決定します。入学後にプロ・アーティストメジャーに転向することは可能です(オーディションに合格する必要があります)。

サテライト試験場 [11/17 (日)・1/26 (日)]

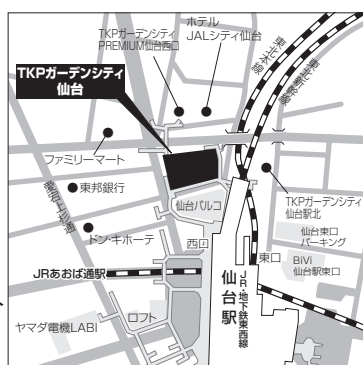
下表の施設が試験場になっています。聖徳大学キャンパス（千葉県松戸市）の他、最寄りの試験場を選んで受験してください。

1. 試験場ごとに合格者数を割り当てていないため、試験場による有利・不利の差はありません。
2. サテライト試験場での受験は、出願時に届け出ることになります。出願後の変更はできません。
3. サテライト試験場は収容人数に制限があります。定員になり次第、受付を終了します。その後の出願者は、人数制限のない聖徳大学（松戸キャンパス）が試験会場になります。
4. 入学試験に関する問い合わせは、すべて本学入学センター（TEL.047-366-5551）に連絡となります。試験場への直接の問い合わせはしないでください。
5. 各試験場の試験室の下見はできません。各試験場のホームページを事前に確認のうえ、試験日当日は時間に余裕をもってお越しください。なお、原則として、付添人は試験場に入れません。
6. 体調不良等により欠席する場合は、事前に本学入学センター（TEL.047-366-5551）までご連絡ください。
7. 看護学部・音楽学部はサテライト試験場では実施しません。聖徳大学（松戸キャンパス）のみでの実施となります。
※ただし、音楽学部の志願者で聖徳大学 SOA 音楽研究センターの「音楽実技認定制度」において、B以上の認定を取得している場合は学校推薦型選抜（公募制）および一般選抜のみサテライト試験場での受験が可能（プロ・アーティストメジャーを除く）となります。
8. 教育学部 教育学科スポーツ教育コースおよび文学部文学科書道文化コースは、一般選抜をサテライト試験場では実施しません。
9. 郡山・三田（東京都）・那覇は学校推薦型選抜（公募制）のみとなります。一般選抜では実施されません。

仙台

TKPガーデンシティ 仙台

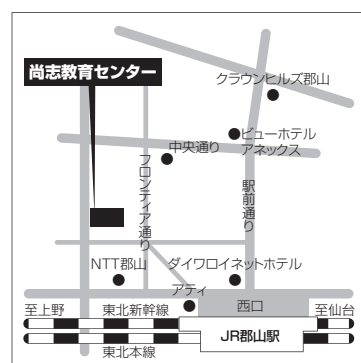
宮城県仙台市青葉区中央1-3-1
AER 21階
JR東北本線 仙台駅
西口 徒歩2分
仙台市地下鉄南北線
仙台(地下鉄)駅 北8出口 徒歩2分



※公募制のみ

郡山

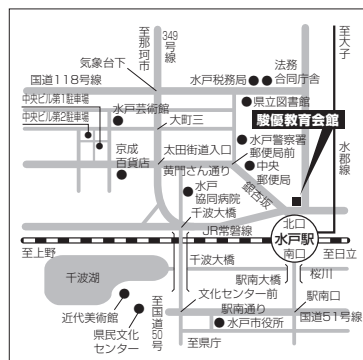
尚志教育センター
福島県郡山市中町14-18
JR郡山駅西口から徒歩7分



水戸

駿優教育会館

茨城県水戸市三の丸1-1-42
JR水戸駅北口から徒歩3分



さいたま

貸会議室24

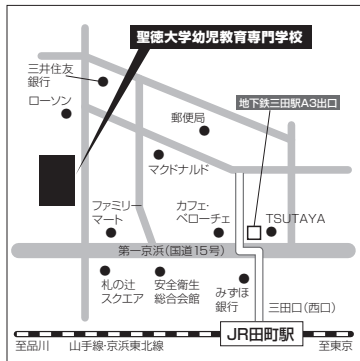
埼玉県さいたま市大宮区仲町2丁目71
ソシオ大宮 3階
JR・東武野田線大宮駅
東口から徒歩7分



※公募制のみ

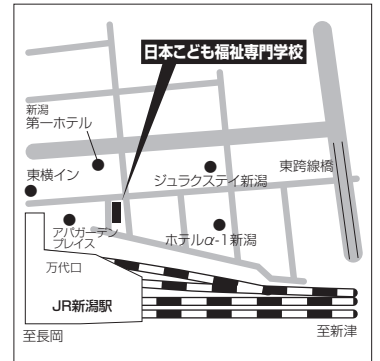
三田（東京都）

**聖徳大学
幼児教育専門学校**
東京都港区三田 3-4-28
JR山手線・京浜東北線田町駅から
徒歩5分
都営地下鉄浅草線・三田線 三田駅
から徒歩5分



新潟

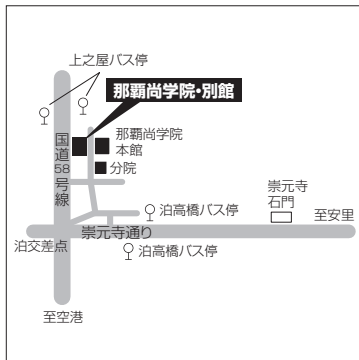
日本こども福祉専門学校
新潟県新潟市中央区花園1-4-8
JR新潟駅万代口から徒歩1分
●上履=必要
※下足を入れる袋を持参すること。



※公募制のみ

那覇

那覇尚学院・別館
沖縄県那覇市泊2-17-4
バス「泊高橋バス停」下車徒歩5分



入試特待制度について

出願する入試の種類に応じて、下記の入試特待制度があります。

なお、本入試特待制度でいう「前期型入試」とは、12月末までに実施する総合型選抜、学校推薦型選抜（指定校制、公募制）、同窓会・後援会推薦入試等を示しています。「後期型入試」とは、1月以降に実施する一般選抜および大学入学共通テスト利用選抜等を示しています。

※特待制度の継続条件は、社会経済情勢に応じて改訂されることがあります。

グローバル特待制度

前期型入試の志願者で、指定された資格を取得している場合、下表の通り入学金・授業料が免除になります。出願時点で指定された資格を取得していない人でも、前期型入試での入学手続後、入学までに資格を取得した場合は、事後申請をすることができます。

「グローバル特待制度」の適用を受けるためには、「グローバル特待制度・資格特待制度適用申請書⑧」とともに、指定された資格の保有を証明する書類（コピー）の提出が必要です。なお、資格の取得時期は問いません。

■出願時に該当資格を所有している場合は、出願書類に同封してください。

（注）入学手続後に上位の級・スコアを取得した場合、以下の通り追加で申請ができますので、出願時に該当資格を所有している場合は必ず申請をしてください。

■入学手続後に資格を取得した場合は、以下の方法で提出してください。

第1回提出期間 令和6年11月25日（月）～12月9日（月）（必着）

第2回提出期間 令和7年3月10日（月）～3月31日（月）（必着）

提出方法 任意の封筒を使用し、必ず簡易書留郵便で提出してください。

送付先 〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 聖徳大学入学センター入試係

令和7年3月31日（月）（必着）を最終提出期限とします。これ以降の提出はいかなる理由があっても受付できません。

「グローバル特待制度」で免除の適用を受けた人は、さらに「〈得点基準明示型〉学力特待制度」にチャレンジすることもできます。

対象学部学科	特待適用基準		免除内容
全学部・全学科対象	実用英語技能検定（英検）	2級以上	入学金全額免除 ＋ 授業料全額免除
	TOEIC L&R+S&W ^{※1}	1150以上	
	TOEFL iBT ^{※2}	42以上	
	GTEC ^{※3}	960以上	
	実用英語技能検定（英検）	準2級	入学金全額免除 ＋ 授業料半額免除
	TOEIC L&R+S&W ^{※1}	625以上	
	GTEC ^{※3}	690以上	

※1 TOEIC L&R+S&Wは、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで判定。TOEIC IPは対象としない。

※2 TOEFL ITPは対象としない。

※3 GTEC[®] は4技能のオフィシャルスコアが必要。

※2年次以降の継続基準 次のすべての項目を満たすこと。なお、(3)は短期大学の学生は不要。

(1)選考対象年度前年度までの累積GPAが3.0以上の人。（GPAとは、履習した科目の成績〔S＝4、A＝3、B＝2、C＝1、D、失格等＝0〕の平均値で、最高4.0となる。）

(2)選考対象年度の前年度の修得単位数が31単位以上（短期大学保育科第二部は21単位以上。文学部文学科の学生で選考対象年度の前年度に「短期留学」科目、「長期留学」科目、「長期インターンシップ」科目のいずれかを選択した人は21単位以上）の人。

(3)【大学2年次から3年次への進級時のみ（短期大学の学生を除く）】

入学前に提出した英語資格・スコアよりもワンランク次表の通り上位の英語資格・スコアを取得すること。

入学金全額免除+授業料 全額 免除			入学金全額免除+授業料 半額 免除		
資格	入学時	進級時	資格	入学時	進級時
実用英語技能検定（英検）	2級以上	準1級以上	実用英語技能検定（英検）	準2級	2級以上
TOEIC L&R+S&W ※1	1150以上	1560以上	TOEIC L&R+S&W ※1	625以上	1150以上
TOEFL iBT® ※2	42以上	72以上	TOEFL iBT® ※2	—	42以上
GTEC® ※3	960以上	1190以上	GTEC® ※3	690以上	960以上

●入学時の資格と進級時の資格は、異なるものでも可とします。

※1 TOEIC L&R+S&Wは、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで判定します。但し、TOEIC IPは、対象とはしません。

※2 TOEFL ITPは、対象とはしません。

※3 GTEC® は、4技能のオフィシャルスコアが必要となります。

- ・入学手続後から大学入学までに申請した場合、減免は入学後1年次秋学期以降の納付金に適用し免除する。
(その前に退学等の理由により学籍を失った場合は、免除は放棄したものとみなす。)
- ・一度特待制度の条件からはずれた場合、次年度以降に継続基準を満たしたとしても減免は復活しない。
ただし、本制度により大学に入学金全額免除+授業料全額免除で入学した人が、3年生への進級時までに条件となる英語資格・スコアの取得にチャレンジしたものの取得できなかった場合でも、累積GPA等の他の条件を満たしていれば免除額が授業料全額免除から授業料半額免除に減額するものの継続可能（要受験結果を証明するもの）。この場合、3年次から4年次への進級時までに条件となる英語資格・スコアを取得し、累積GPA等の他の条件を満たしていれば、大学4年次は再び授業料全額免除の適用となる。
- ・休学や進級できなかったとき、転学部・転学科、その他懲戒処分を受けるなどがあった場合は、特待を取り消すものとする。

高校成績特待制度

前期型入試の志願者で、出願時における高等学校（中等教育学校を含む）の全体の学習成績の状況が基準を満たす場合、下表の通り入学金が免除になります。全体の学習成績の状況は、出願書類に同封された「調査書」に記載の値を適用しますので、別途申請する必要はありません。「資格特待制度」と併用することができます。「高校成績特待制度」で入学金免除の適用を受けた人が、さらに「〈得点基準明示型〉学力特待制度」で授業料免除との併用にチャレンジすることもできます。

対象学部学科		特待適用基準		免除内容	備考
教育学部	児童学科 教育学科	全体の 学習成績の状況	3.5以上	入学金 半額免除	資格特待制度との併用が可能。併用により、入学金が最大で全額免除となる。
心理・福祉学部	心理学科 社会福祉学科				
文学部	文学科				
人間栄養学部	人間栄養学科				
音楽学部	音楽学科				
看護学部	看護学科	全体の 学習成績の状況	3.3以上		
短期大学	保育科第一部 保育科第二部 総合文化学科				

(注)「調査書」は、出願書類を提出する段階で確定している最新の成績まで記入されているものを提出すること。

資格特待制度

前期型入試の志願者で、指定された資格を取得している場合、下表の通り入学金が免除になります。出願時点で指定された資格を取得していない人でも、前期型入試での入学手続後、入学までに資格を取得した場合は、事後申請をすることができます。本制度は、「高校成績特待制度」と併用することができます。

「資格特待制度」の適用を受けるためには、「グローバル特待制度・資格特待制度適用申請書⑧」とともに、指定された資格の保有を証明する書類（コピー）の提出が必要です。なお、資格の所得時期は問いません。

■出願時に該当資格を所有している場合は、出願書類に同封してください。

（注）入学手続後に上位の級・スコアを取得した場合、以下の通り追加で申請ができますので、出願時に該当資格を所有している場合は必ず申請をしてください。

■入学手続後に資格を取得した場合は、以下の方法で提出してください。

第1回提出期間 令和6年11月25日（月）～12月9日（月）（必着）

第2回提出期間 令和7年3月10日（月）～3月31日（月）（必着）

提出方法 任意の封筒を使用し、必ず簡易書留郵便で提出してください。

送付先 〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 聖徳大学入学センター入試係

令和7年3月31日（月）（必着）を最終提出期限とします。これ以降の提出はいかなる理由があっても受付できません。

「資格特待制度」で入学金免除の適用を受けた人が、さらに「〈得点基準明示型〉学力特待制度」で授業料免除との併用にチャレンジすることもできます。

対象学部学科	特待適用基準	免除内容	
全学部・全学科共通	日本漢字能力検定（漢検）	2級以上	入学金 全額免除
		準2級	入学金 半額免除
教育学部 児童学科 教育学科 短期大学 保育科第一部 保育科第二部	聖徳ピアノグレード※	α級	入学金 全額免除
		β級	入学金 半額免除
教育学部 児童学科 教育学科	カワイグレードテスト(ピアノ) またはヤマハグレード(ピアノ)	8級以上	入学金 全額免除
		9級	入学金 半額免除
心理・福祉学部 社会福祉学科 短期大学 保育科第一部 保育科第二部	ピティナ（全日本ピアノ指導者協会） ピアノコンペティション ソロ部門 地区予選優秀賞取得者（地区本選進出者）	C級以上	入学金 全額免除
		B級	入学金 半額免除
文学部 文学科	全国商業高等学校協会主催 簿記実務検定（全商簿記）	1級	入学金 全額免除
		2級	入学金 半額免除
	日本商工会議所および各地商工会議所主催 簿記検定試験（日商簿記）	2級以上	入学金 全額免除
		3級	入学金 半額免除
全国商業高等学校協会主催 情報処理検定（全商情報処理）	1級	入学金 全額免除	
	2級	入学金 半額免除	
音楽学部 音楽学科	聖徳音楽グレード※	α級	入学金 全額免除
		β級	入学金 半額免除

備考 ・「高校成績特待制度」との併用が可能。併用により、入学金が最大で全額免除となる。

・同じ免除額の資格を重複して適用することはできない。（例：漢検準2級と、聖徳ピアノグレードβ級の両方を取得して、入学金全額免除とすることはできない）

・入学手続後から大学入学までに申請した場合の減免は、入学後1年次秋学期以降の納付金に適用して行う。

（その前に退学等の理由により学籍を失った場合は、免除は放棄したものとみなす。）

※ 「聖徳ピアノグレード」「聖徳音楽グレード」について

オープンキャンパスに併せて開催される「聖徳ピアノグレード」「聖徳音楽グレード」にチャレンジし、グレード認定を受けることができる。日程等詳細はホームページで確認すること。

〈得点基準明示型〉学力特待制度

後期型入試の志願者で、入試の合計得点率が基準以上の場合、下表の通り入学金、授業料が免除になります。入試での合計得点率を適用しますので、別途申請する必要はありません。この授業料、施設費の免除は入学後、最大で大学は4年間、短大は2年間（第二部は3年間）継続が可能ですが、毎年度継続審査があります。

前期型入試の入学手続きは入学を担保したまま、後期型入試に出願し、本特待制度にチャレンジすることが可能です。

対象学部学科	特待適用基準		種別	免除内容	
全学部・全学科 共通	合計得点率	81%以上	S特待	入学金相当額 免除	授業料・施設費 全額免除
		75%以上	A特待		授業料 全額免除
		70%以上	B特待		授業料 半額免除

※上記の免除にプラスして、入学時の家計負担を少なくするため、S特待は教育充実費上限6万円を、A特待・B特待は施設費全額を、それぞれ1年次春学期のみ免除する。

※既に他の特待制度等において入学金の免除を受けている場合、入学金相当額の免除（入学金の免除を受けている分については、適用対象外となります）

※入学金相当額免除について：入学手続き時には入学金の納入があるため、同額を入学後1年次秋学期以降の納付金から減免します。

※上記の基準は、特待適用基準であって、可否の基準ではない。

※2年次以降の継続基準

- ・選考対象年度の前年度の年間GPAが2.8以上の人。（GPAとは、履習した科目の成績〔S=4、A=3、B=2、C=1、D、失格等=0〕の平均値で、最高4.0となる。）
 - ・選考対象年度の前年度の修得単位数が31単位以上（短期大学保育科第二部は21単位以上。文学部文学部の学生で選考対象年度の前年度に「短期留学」科目、「長期留学」科目、「長期インターンシップ」科目のいずれかを選択した人は21単位以上）の人。
 - ・成績により一度特待制度の条件からはずれた場合でも、次年度以降の成績が基準以上となった場合は、再度特待制度の条件が適用される。
 - ・休学や進級できなかったとき、転学部・転学科、その他懲戒処分を受けるなどがあった場合は、特待を取り消すものとする。
- ※他の入試で既に入学手続き済の場合、減免は入学後1年次秋学期以降の納付金に適用し免除する。（その前に退学等の理由により学籍を失った場合は、免除は放棄したものとみなす。）

※前期型入試の入学手続き者が、一般選抜A日程と大学入学共通テスト利用選抜A日程を受験する場合の入学検定料の免除について
前期型入試の入学手続き者が、一般選抜A日程と大学入学共通テスト利用選抜A日程を受験し、〔〈得点基準明示型〉学力特待制度〕にチャレンジする場合、入学検定料が免除される。ただし、音楽学部の入学手続き者が、プロ・アーティストメジャーに志願する場合は、入学検定料が必要となる。注：大学入学共通テストの受験には、別途検定料が必要。

聖徳大学入学サポート奨学金【経済的支援制度】

前期型入試の受験生において、経済的に就学が困難な受験生を支援するため、下記の条件を満たす人が、入学手続き時に申請した場合、入学金を半額免除します。他の特待制度との併用も可能です。ただし、高校成績特待制度の適用者は本制度の対象となりません。

(1) 受験生の家計における、主たる家計支持者一人（本人の父母またはこれに代わって家計を支えている人）の所得等が以下の場合

- ・ 給与所得者の場合 給与収入の合計が841万円以下の方
- ・ 給与所得者以外の場合 総所得の合計が355万円以下の方

注) 受験生本人を主たる家計支持者とすることは不可。

(2) 上記(1)を証明する書類

給与所得者………令和5年分源泉徴収票のコピーまたは市区町村が発行する課税証明書または所得証明書(令和5年の所得が記載されたもの、コピー可)

給与所得者以外…市区町村が発行する課税証明書または所得証明書(令和5年の所得が記載されたもの、コピー可)

(3) 上記(2)を添付した「経済的支援制度適用申請書①」を各入試の入学手続き期限までに入学手続き書類とともに提出すること。

※上記で指定された以外の証明書は受付不可。不可の例：特別徴収税額の決定通知書

※「経済的支援制度適用申請書①」は、Web出願ページ「入学手続きについてのお願い」に掲載。

音楽学部実技特待制度（音楽学部のみ）

・ 対象者および対象入試：音楽学部音楽学科プロ・アーティストメジャー受験者（一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜・実技特別選抜）
・ 審査基準：実技試験において、特に優れた成績で合格した者。ただしプロ・アーティストメジャーに合格しても、実技特待制度の合格基準に達しない場合がある。

・ 減免内容：入学金相当額・授業料全額

・ 減免期間：当該年度。なお、原則4年間継続できるものとし、毎年度継続審査を行う。

・ 継続審査基準：選考対象年度の前年度において次の条件を全て満たす者

1. 別に定めるコンクールでの演奏または個人リサイタル等の形で1回以上の学習成果を発表した者
2. 音楽学部専門科目（B類）の年間GPAが2.8以上の者
3. 実技指導教員および関連演奏分野の複数の教員による公開の特待継続審査に合格した者

・ プロ・アーティストメジャー合格者がS特待を目指して、再度受験する場合、実技は免除される。

※既に他の特待制度等において入学金の免除を受けている場合、入学金相当額の免除（入学金の免除を受けている分について）は、適用対象外となります。

※入学金相当額免除について：入学手続き時には入学金の納入があるため、同額を入学後1年次秋学期以降の納付金から減免します。

香和会特待制度（香和会は、聖徳大学大学院・聖徳大学・聖徳大学短期大学部の通学課程の卒業生からなる同窓会です）

香和会員の子女、または孫、そして香和会員本人を対象とした制度です。対象者は出願と同時に申請することで、入学金を10万円免除します。

親子二世代、三世代間の入学や、卒業生のキャリアアップ・再チャレンジに際しての入学を支援する特待制度です。

該当する受験生は、受験生応援サイト→入試情報→納付金・特待制度→入試特待制度から香和会特待制度申請書をダウンロード、印刷して卒業証書（コピー）または卒業証明書とともに出願書類に同封すること。

※入学金が免除となる他の特待制度の対象者は、適用対象外となるのでご注意ください。

陸上競技部特待制度

前期型入試の志願者で、高等学校在籍時に、陸上成績の優れた者に対し、入学金や授業料等を免除します。入学後、本学の陸上競技部に入部し、学業と競技生活を併せ行うことが条件です。

本制度の適用基準等の詳細な内容については、必ず出願期間前に、聖徳大学入学センター入試係へお問い合わせください。

入学試験 要項

大学編

*このページは大学編です。

短期大学編は P.33 ~ P.38 を参照してください。

- 教育学部
児童学科 / 教育学科
- 心理・福祉学部
心理学科 / 社会福祉学科
- 文学部
文学科
- 人間栄養学部
人間栄養学科
- 看護学部
看護学科
- 音楽学部
音楽学科

学校推薦型選抜（公募制）

所定の出願資格を満たし、高等学校長の推薦が得られる人が受験できる入試方式です。

* 志望する学部・学科の入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）を確認のうえ出願してください。

1. 試験方式・選考方法

	書類審査 (活動報告・志望理由書、 調査書、推薦書等)	小論文 ^{※1}	書道実技 ^{※2}	音楽実技等 ^{※3}	面接
大 学 教育学部 心理・福祉学部 文学部文学科 書道文化コース以外 人間栄養学部 看護学部	○	○			○
文学部文学科 書道文化コース	○	○	○		○
音楽学部	○			○	○

※1 小論文課題はP.39～P.40に掲載しています。出願時に提出してください。

※2 文学部文学科書道文化コースのみ書道実技(60分)を課します。ただし、サテライト試験場での受験については、出願時に作品を提出することとし、当日の書道実技は実施しません(詳細はP.26参照)。

※3 音楽実技等の詳細は、音楽実技等課題「学校推薦型選抜(公募制)等用(P.28～P.31)を参照してください。

*書類審査における、活動報告・志望理由書、調査書、推薦書等は、合否判定における総合的判断に活用します。

*音楽学部の音楽実技等・面接は動画提出にかえることができます。ただし、プロ・アーティストメジャー志望の受験生は除きます。詳細はP.31を参照してください。音楽実技等および面接を動画提出にかえた場合、書類審査と動画審査になるため、試験会場への来場は不要となります。

2. 出願資格

次のすべての項目を満たす女性であること。

- 1) 高等学校もしくは中等教育学校を令和6年3月に卒業した人、または令和7年3月に卒業見込の人
- 2) 本学を第一志望とし、人物、学業、健康ともにすぐれ、出身学校長の推薦を受けられる人
- 3) 志望学部・学科の実技、実験、実習(学外の実習を含む)等に支障のない人。また、免許、資格等を取得する場合は、当該の実技、実験、実習(学外の実習を含む)等に支障のない人
- 4) 高等学校における学習成績の状況が、下記の条件を満たしている人

区分(学部等)	学科名等	高等学校3年間の学習成績の状況
大 学	教育学部 児童学科(昼間主・夜間主)	次の①、②のいずれかを満たすこと。 ①全体の学習成績の状況3.2以上 ②「国語」、「地理歴史」、「公民」、「数学」、「理科」、「外国語」の6教科すべての学習成績の状況が3.0以上かつ、高等学校で履修した教科のうち、いずれか1教科が3.2以上
	教育学部 教育学科(昼間主・夜間主)	全体の学習成績の状況が3.2以上かつ、「国語」、「地理歴史」、「公民」、「数学」、「理科」、「外国語」のうちいずれか1教科が3.5以上
	心理・福祉学部 心理学科 社会福祉学科	全体の学習成績の状況3.2以上
	文学部 文学科	全体の学習成績の状況3.2以上 文学科国際文化コミュニケーションコースのみ以下のいずれかが必要 ^{※1} ： 英検準2級以上、GTEC [®] 690以上、TOEFL iBT [®] 42以上、ケンブリッジ英語検定120以上、IELTS [™] 4.0以上、TEAP135以上、TEAP CBT235以上、TOEIC L&R+S&W625以上(TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで判定する)
	人間栄養学部 人間栄養学科	全体の学習成績の状況3.2以上かつ、「化学基礎」、「化学」、「生物基礎」、「生物」、「理数化学」、「理数生物」のうちいずれか1科目が3.5以上
	看護学部 看護学科	全体の学習成績の状況3.2以上
音楽学部 音楽学科	全体の学習成績の状況3.2以上 音楽学部は「音楽系部活動顧問推薦制度」を受けることで、学習成績の状況条件を除外して出願することができる。詳細はP.31を参照のこと。	

※1 GTEC[®] は4技能のオフィシャルスコアが必要です。TOEFL ITPは対象としません。TOEIC IPは対象としません。

3. 入試日程・時間割

■入試日程等

〈大学 教育学部/心理・福祉学部/文学部/人間栄養学部/看護学部/音楽学部〉

区分(日程)	願書受付期間(必着)	入試日	試験場	合格発表	入学手続期限 (消印有効)
前期	11月1日(金)～11月11日(月) [Web登録:10月25日(金)から]	11月17日(日)	聖徳大学キャンパス	12月2日(月)	12月13日(金)
			サテライト試験場		
後期	12月2日(月)～12月10日(火)	12月15日(日)	聖徳大学キャンパス	12月20日(金)	1月8日(水)

※看護学部は後期日程を実施しません。

〈音楽学部受験生へ〉

- 聖徳大学 SOA 音楽研究センターの「音楽実技認定制度」において、B以上の認定を取得している場合は、音楽実技等課題を免除します。詳細は、本学教育支援課音楽支援グループ(音楽学部事務室)にお問い合わせください。
- 大学キャンパスでの受験生について、練習室は8:30から、一人1時間を限度に使用可能(無料)。希望者は、事前に本学教育支援課音楽支援グループ(音楽学部事務室)にお申し出ください(日・祝日を除く)。TEL 047-703-0111(直通)

■試験時間割

学部		試験場	試験室入室	面接
大学	教育学部/心理・福祉学部/ 文学部/人間栄養学部	聖徳大学キャンパス	8:30まで	9:00～
		サテライト試験場	8:30まで	9:00～
	看護学部	聖徳大学キャンパス	8:30まで	9:00～
	音楽学部	聖徳大学キャンパス	9:30まで	9:40～ (音楽実技等を含む)
		サテライト試験場	8:30まで	9:00～

☆面接および音楽学部の実技等の開始時間は、受験番号によって異なる。音楽学部は受験者数・試験の順番により、昼食が必要となる場合もあります。

☆文学部文学科書道文化コースの書道実技(大学キャンパスのみ)は、9:00から実施します。

〈注意事項〉

学校推薦型選抜で合格し入学手続済の人は、入学を担保したまま、その後実施される一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜に出願し、〈得点基準明示型〉学力特待制度に挑戦することが可能です。その場合、一般選抜A日程および大学入学共通テスト利用選抜A日程(両方への出願も可)に限り入学検定料が免除となります。〈得点基準明示型〉学力特待制度の基準を満たした場合、再度入学手続書類を提出することにより、新たに授業料等の免除が受けられます。なお、追加で取得した減免は、入学後1年次秋学期以降の納付金に適用し免除します。

※大学入学共通テストの受験には別途検定料が必要です。

一般選抜

科目試験を軸とした入試。得意な科目、日程で受験できます。

(一部の学部・学科等では、実技、面接等の受験が必要となります。)

* 志望する学部・学科の入学受け入れの方針 (アドミッション・ポリシー) を確認のうえ出願してください。

1. 選考方法

	書類審査 (調査書、志望理由書等)	科目試験 ^{*1}	スポーツ実技 ^{*2}	音楽実技等 ^{*3}	面接 ^{*4}
大学 教育学部児童学科 教育学部教育学科 スポーツ教育コース以外 心理・福祉学部 文学部 人間栄養学部	○	○ 2科目			
教育学部教育学科 スポーツ教育コース	○	○ 2科目	○		
看護学部	○	○ 2科目			○
音楽学部	○	○ 2科目		○	○ (プロ・アーティスト メジャーのみ)

※1 「書道実技」は、科目試験に含まれます。ただし、サテライト試験場での受験はできません (詳細は P.26 参照)。

※2 教育学部教育学科スポーツ教育コースはスポーツ実技を実施します。ただし、今年度の入試において既に合格し、入学手続済の人は、スポーツ実技は免除となります。

※3 音楽学部の音楽実技等の詳細は、音楽実技等課題 (P.28 ~ P.31) を参照してください。

※4 面接のない学科・試験方式の受験生についても、必要に応じて面接を実施する場合があります。

*看護学部および音楽学部において、今年度の他の入試において既に合格し、入学手続済の人は、面接、音楽実技等は免除となります。ただし、音楽学部プロ・アーティストメジャー志願者は除きます。

*書類審査における、調査書、志望理由書等は、合否判定における総合的判断に活用します。

*音楽学部の音楽実技等は動画提出にかえることができます。ただし、プロ・アーティストメジャー志望の受験生は除きます。詳細は P.31 を参照してください。

2. 出願資格

次のいずれかの項目に該当する女性であること。

- 1) 高等学校または中等教育学校を卒業した人、および令和 7 年 3 月に卒業見込の人
- 2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した人、および令和 7 年 3 月に修了見込の人
- 3) 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した人、および令和 7 年 3 月修了見込の人。またはこれに準ずる人で文部科学大臣の指定した人
- 4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した人、および令和 7 年 3 月修了見込の人
- 5) 専修学校の高等課程 (修業年限が 3 年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る) で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した人
- 6) 文部科学大臣の指定した人 (昭和 23 年文部省告示第 47 号)
- 7) 高等学校卒業程度認定試験規則 (平成 17 年文部科学省令第 1 号) により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した人、および令和 7 年 3 月までに合格する見込の人
- 8) 学校教育法第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した人であって、当該者をその後本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた人
- 9) 本学において、個別の入学資格審査^{*}により高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認められた人で、令和 7 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する人

※個別の入学資格審査については P.53 参照。

3. 入試日程・時間割

■入試日程等

〈大学 教育学部／心理・福祉学部／文学部／人間栄養学部／看護学部／音楽学部〉

区分(日程)	願書受付期間(必着)	入試日	試験場	合格発表	入学手続期限(消印有効)
A 日程	12月16日(月)～1月20日(月)	1月26日(日) ^{*1} 1月27日(月)	聖徳大学キャンパス サテライト試験場 ^{*2}	2月4日(火)	一括納入時:2月12日(水) 二段階納入時 ^{*4} : 一段階目 2月12日(水) 二段階目 2月19日(水)
B 日程	2月1日(土)～2月19日(水)	2月25日(火)	聖徳大学キャンパス	3月1日(土)	3月10日(月)
C 日程	2月20日(木)～3月5日(水)	3月10日(月)		3月14日(金)	3月19日(水)必着

- ※1 A日程は試験日を2日間設けていますが、いずれか1日もしくは両日を選ぶことができます。ただしサテライト試験場は1月26日(日)のみ実施します。
 ※2 教育学部教育学科スポーツ教育コース、文学部文学科書道文化コース、看護学部、音楽学部は、聖徳大学(松戸キャンパス)のみで実施します。ただし、音楽学部受験希望者で、聖徳大学 SOA 音楽研究センターの「音楽実技認定制度」においてB以上の認定を取得している受験生は、音楽実技等が免除となるため、一般選抜は、サテライト試験場での受験が可能となります。ただし音楽学部プロ・アーティストメジャーは除きます。
 ※3 C日程のみ、他学科(短期大学含む)を第二志望とすることが可能ですが、第二志望学科の必須科目(実技等を含む)の受験が必要となるため、十分注意して願書してください。
 ※4 出願時に申請することにより、二段階納入制度として、一段階目の期日までに入学金のみを納入し、それ以外の納付金については二段階目の期日までに支払うことができます。
 ☆ 音楽学部音楽学科(プロ・アーティストメジャー)を受験して不合格になった場合でも、音楽学科として合格になる場合があります。

■試験時間割 ※サテライト試験場の詳細はP.8・P.9を参照してください。

志望学部、学科ごとの試験科目(出題範囲)は、P.21を確認の上、指定された科目を受験してください。

- 「英語」が選択科目(または必須科目)の方で、外部英語検定試験の活用により、試験当日に「英語」を受験しない場合は、受験する科目試験の開始時間40分前に集合してください。

■聖徳大学キャンパス ■サテライト試験場

〈教育学部 児童学科、教育学科(スポーツ教育コースを除く)／心理・福祉学部 心理学科、社会福祉学科／文学部 文学科(日本語・日本文学コース)〉

(1) 選択科目で「英語」を選択する場合

集合時間	「英語」	「国語」
8:30	9:00～10:00	10:30～11:30

(2) 選択科目で「英語」以外の科目を選択する場合

集合時間	「国語」	「選択科目」 [*]
9:50	10:30～11:30	12:00～13:00

※ 「選択科目」は、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」、「化学基礎」、「生物基礎」から、志望学部・学科の指定された1科目を選択(P.21参照)。

■聖徳大学キャンパス

〈教育学部 教育学科(スポーツ教育コース)〉

(1) 選択科目で「英語」を選択する場合

集合時間	「英語」	「国語」	スポーツ実技
8:30	9:00～10:00	10:30～11:30	12:00～

(2) 選択科目で「英語」以外の科目を選択する場合

集合時間	「国語」	「選択科目」 [*]	昼食・休憩時間	スポーツ実技
9:50	10:30～11:30	12:00～13:00	13:00～13:50	13:50～

※ 「選択科目」は、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」、「化学基礎」、「生物基礎」から1科目を選択(P.21参照)。

■聖徳大学キャンパス ■サテライト試験場

〈文学部文学科(教養デザインコース、歴史文化コース、図書館情報コース)〉

(1) 選択科目①で「英語」、選択科目②で「国語」(または選択科目①で「国語」、選択科目②で「英語」)を選択する場合

集合時間	「英語」	「国語」
8:30	9:00～10:00	10:30～11:30

(2) 選択科目①で「英語」、選択科目②で「国語」以外を選択する場合

集合時間	「英語」	昼食・休憩時間	「選択科目」 [*]
8:30	9:00～10:00	10:00～12:00	12:00～13:00

※ 「選択科目」は、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」から1科目を選択(P.21参照)。

(3) 選択科目①で「国語」、選択科目②で「英語」以外を選択する場合

集合時間	「国語」	「選択科目」 [*]
9:50	10:30～11:30	12:00～13:00

※ 「選択科目」は、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」から1科目を選択(P.21参照)。

大学 一般選抜

聖徳大学キャンパス サテライト試験場

〈文学部 文学科（国際文化コミュニケーションコース）〉

(1) 選択科目で「国語」を選択する場合

集合時間	「英語」	「国語」
8:30	9:00～10:00	10:30～11:30

(2) 選択科目で「国語」以外の科目を選択する場合

集合時間	「英語」	自習・休憩時間	「選択科目」*
8:30	9:00～10:00	10:00～12:00	12:00～13:00

※ 「選択科目」は、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」から1科目を選択（P.21参照）。

聖徳大学キャンパス

〈文学部 文学科（書道文化コース）〉

(1) 選択科目で「英語」を選択する場合

集合時間	「英語」	自習・休憩時間	「書道実技」
8:30	9:00～10:00	10:00～12:00	12:00～13:00

(2) 選択科目で「国語」を選択する場合

集合時間	「国語」	「書道実技」
9:50	10:30～11:30	12:00～13:00

聖徳大学キャンパス サテライト試験場

〈人間栄養学部 人間栄養学科〉

(1) 選択科目①で「国語」を選択する場合

集合時間	「国語」	「選択科目」*
9:50	10:30～11:30	12:00～13:00

※ 「選択科目」は、「数学Ⅰ、数学A」、「化学基礎」、「生物基礎」から1科目を選択（P.21参照）。

(2) 選択科目①で「英語」を選択する場合

集合時間	「英語」	自習・休憩時間	「選択科目」*
8:30	9:00～10:00	10:00～12:00	12:00～13:00

※ 「選択科目」は、「数学Ⅰ、数学A」、「化学基礎」、「生物基礎」から1科目を選択（P.21参照）。

聖徳大学キャンパス

〈看護学部 看護学科〉

(1) 選択科目で「英語」を選択する場合

集合時間	「英語」	「国語」	自習・休憩時間	昼食・休憩時間	「面接」
8:30	9:00～10:00	10:30～11:30	11:30～13:00	13:00～13:45	14:00～

(2) 選択科目で「英語」以外の科目を選択する場合

集合時間	「国語」	「選択科目」*	昼食・休憩時間	「面接」
9:50	10:30～11:30	12:00～13:00	13:00～13:45	14:00～

※ 「選択科目」は、「数学Ⅰ、数学A」、「化学基礎」、「生物基礎」から1科目を選択（P.21参照）。

聖徳大学キャンパス サテライト試験場

〈音楽学部 音楽学科〉 ©「音楽実技等」、「面接」の開始時間は、受験番号によって異なります。なお、面接はプロ・アーティストメジャー志願者のみ実施します。

(1) 選択科目で「英語」を選択する場合

集合時間	「英語」	「国語」	昼食・休憩時間	「音楽実技等」、「面接」
8:30	9:00～10:00	10:30～11:30	11:30～13:00	13:00～

(2) 選択科目で「英語」以外の科目を選択する場合

集合時間	「国語」	「選択科目」*1	昼食・休憩時間	「音楽実技等」、「面接」
9:50	10:30～11:30	12:00～13:00	13:00～13:50	13:50～

※1 「選択科目」は、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」、「化学基礎」、「生物基礎」から1科目を選択（P.21参照）。

〈音楽学部受験生へ〉

- (1) 聖徳大学 SOA 音楽研究センターの「音楽実技認定制度」において、B以上の認定を取得している場合は、音楽実技等課題を免除します。その場合、サテライト試験場での受験が可能となります(プロ・アーティストメジャー志願者を除く)。詳細は、本学教育支援課音楽支援グループ(音楽学部事務室)にお問い合わせください。
- (2) 大学キャンパスでの受験生について、練習室は昼食・休憩時間に、一人1時間を限度に使用可能(無料)。希望者は、事前に本学教育支援課音楽支援グループ(音楽学部事務室)にお申し出ください(日・祝日を除く)。TEL047-703-0111(直通)

4. 試験科目(出題範囲)

■配点

〈大学 教育学部/心理・福祉学部/文学部/人間栄養学部/看護学部 1科目 100点×2〉

〈大学 音楽学部 音楽学科 1科目 100点×2 音楽実技等 100点

音楽学科(プロ・アーティストメジャー) 1科目 100点×2 実技等 200点〉

学部	学科・コース	必須科目	選択科目
教育学部	児童学科(昼間主・夜間主) 教育学科(昼間主・夜間主)	「国語*1」	「英語*2」、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」、「化学基礎」、「生物基礎」から1科目選択
心理・福祉学部	心理学科 社会福祉学科	「国語*1」	「英語*2」、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」、「化学基礎」、「生物基礎」から1科目選択
文学部	文学部 教養デザインコース	—	選択科目①と選択科目②を受験する 選択科目① 「国語(古文選択可)*3」、「英語*2」から1科目選択 選択科目② (選択科目①との重複は不可) 「国語(古文選択可)*3」、「英語*2」、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」の中から1科目選択
	文学部 国際文化コミュニケーションコース	「英語*2」	「国語(古文選択可)*3」、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」から1科目選択
	文学部 日本語・日本文学コース	「国語(古文選択可)*3」	「英語*2」、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」から1科目選択
	文学部 書道文化コース	「書道実技」	「国語(古文選択可)*3」、「英語*2」から1科目選択
	文学部 歴史文化コース	—	選択科目①と選択科目②を受験する 選択科目① 「国語(古文選択可)*3」、「英語*2」から1科目選択 選択科目② (選択科目①との重複は不可) 「国語(古文選択可)*3」、「英語*2」、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」の中から1科目選択
	文学部 図書館情報コース	—	選択科目①と選択科目②を受験する 選択科目① 「国語(古文選択可)*3」、「英語*2」から1科目選択 選択科目② (選択科目①との重複は不可) 「国語(古文選択可)*3」、「英語*2」、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」の中から1科目選択
人間栄養学部	人間栄養学科	—	選択科目①:「国語*1」または「英語*2」から1科目選択 選択科目②:「数学Ⅰ、数学A」、「化学基礎」、「生物基礎」から1科目選択 選択科目①と選択科目②の両方を選択し、受験する
看護学部	看護学科	「国語*1」	「英語*2」、「数学Ⅰ、数学A」、「化学基礎」、「生物基礎」から1科目選択
音楽学部	音楽学科	「国語*1」	「英語*2」、「数学Ⅰ、数学A」、「日本史探究」、「世界史探究」、「化学基礎」、「生物基礎」から1科目選択

※1 「国語」は、「現代の国語」、「言語文化(近代以降の文章)」の内容を出題範囲とし、近代以降の文章を出題(文学部文学部を除きます)。

※2 英語は、「英語コミュニケーションⅠ」「論理・表現Ⅰ」「英語コミュニケーションⅡ」を出題範囲とします。

※3 文学部文学部の国語は「現代の国語」、「言語文化」の内容を出題範囲とし、近代以降の文章1問必須、近代以降の文章または古文(漢文を除く)のいずれか1問を選択し、計2問を解答してください。

大学 一般選抜

■一般選抜における、外部英語検定試験の活用について

対象となる外部英語検定試験の基準を満たしている場合、一般選抜の「英語」の試験の得点とみなします。試験当日に「英語」の受験をすることも可能です。受験した場合は、どちらか高得点となる点数で合否判定を行います。ただし、選択科目において「英語」以外の科目を受験した場合、みなし得点は無効となります。

みなし得点	英検 (実用英語技能検定)	GTEC [®] ※1	TOEFL iBT [®] ※2	ケンブリッジ 英語検定	IELTS	TEAP	TEAP CBT [®]
100点	準1級以上	1190以上	72以上	160以上	5.5以上	309以上	600以上
80点	2級	960以上	42以上	140以上	4.0以上	225以上	420以上
70点	準2級	690以上	—	120以上	—	135以上	235以上

※1 GTEC[®] は4技能のオフィシャルスコアが必要。

※2 TOEFL ITP は対象としない。

〈注意事項〉

- (1) 面接の開始時間は受験番号によって異なります。
- (2) 一般選抜と大学入学共通テスト利用選抜は併願ができます。この場合は、1 併願につき 10,000 円入学検定料が減額となります（P.46「複数の入試を同時に出席（併願）することによる入学検定料の減額について」参照）。
〈教育学部教育学科スポーツ教育コース、看護学部、音楽学部の受験生へ〉
 - (1) 一般選抜と大学入学共通テスト利用選抜を同一日程で併願する場合は、同じ日に 1 回の面接や実技等を実施し両方の合否判定をします。試験時間割は、一般選抜を優先して受験してください。
 - (2) 教育学部教育学科スポーツ教育コースはスポーツ実技を実施します。ただし、今年度の入試において既に合格し、入学手続済の人は、スポーツ実技は免除となります。
 - (3) 看護学部および音楽学部において、今年度の入試において既に合格し、入学手続済の人は、面接、音楽実技等は免除となります。ただし、音楽学部プロ・アーティストメジャー志願者は除きます。

大学入学共通テスト利用選抜

大学入学共通テストの得点を利用して合否判定します。（一部の学部・学科等では、実技、面接等の受験が必要となります。）

* 志望する学部・学科の入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）を確認のうえ出願してください。

1. 選考方法

	書類審査 (調査書、 志望理由書等)	科目試験※1	スポーツ実技※2	書道実技※3	音楽実技等※4	面接※5
大学 教育学部児童学科 教育学部教育学科 スポーツ教育コース以外 心理・福祉学部 文学部文学科 書道文化コース以外 人間栄養学部	○	○ 2科目				
教育学部教育学科 スポーツ教育コース	○	○ 2科目	○			
文学部文学科 書道文化コース	○	○ 2科目		○		
看護学部	○	○ 2科目				○
音楽学部	○	○ 2科目			○	○ (プロ・アーティスト メジャーのみ)

※1 科目試験については、大学入学共通テストにおいて指定の科目を受験してください（大学独自の学力試験は実施しません）。

※2 教育学部教育学科スポーツ教育コースはスポーツ実技を実施します。ただし、今年度の他の入試において既に合格し、入学手続済の人は、スポーツ実技は免除となります（詳細は P.26 参照）。

※3 文学部文学科書道文化コースのみ書道実技として、出願時に作品を提出してください（詳細は P.26 参照）。ただし、今年度の他の入試で既に合格し、入学手続済の人は提出不要です。

※4 音楽実技等の詳細は、音楽実技等課題（P.28～P.31）を参照してください。

※5 看護学部、音楽学部（プロ・アーティストメジャー志願者のみ）は面接を実施します。また、面接のない学科・試験方式の受験生についても、必要に応じて面接を実施する場合があります。

* 看護学部および音楽学部において、今年度の入試において既に合格し、入学手続済の人は、面接、音楽実技等課題は免除となります。ただし、音楽学部プロ・アーティストメジャー志願者は除きます。

* 書類審査における、調査書、志望理由書等は、合否判定における総合的判断に活用します。

* 音楽学部の音楽実技等は動画提出にかえることができます。ただし、プロ・アーティストメジャー志望の受験生は除きます。詳細は P.31 を参照してください。音楽実技等を動画提出にかえた場合、書類審査と動画審査になるため、試験会場への来場は不要となります。

2. 出願資格

次のいずれかの項目に該当する女性であること。

- 1) 高等学校または中等教育学校を卒業した人、および令和 7 年 3 月に卒業見込の人
- 2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した人、および令和 7 年 3 月に修了見込の人
- 3) 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した人、および令和 7 年 3 月修了見込の人。またはこれに準ずる人で文部科学大臣の指定した人
- 4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した人、および令和 7 年 3 月修了見込の人
- 5) 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した人
- 6) 文部科学大臣の指定した人（昭和 23 年文部省告示第 47 号）
- 7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した人、および令和 7 年 3 月までに合格する見込の人
- 8) 学校教育法第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した人であって、当該者をその後本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた人
- 9) 本学において、個別の入学資格審査*により高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認めた人で、令和 7 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する人

* 個別の入学資格審査については P.53 参照。

3. 入試日程・時間割

各日程とも複数学部・学科（昼夜・コース）への併願が可能です。

■入試日程等

〈大学 教育学部／心理・福祉学部／文学部／人間栄養学部／看護学部／音楽学部〉

区分(日程)	願書受付期間(必着)	入試日	試験場	合格発表	入学手続期限(消印有効)
A 日程	12月16日(月)～1月20日(月)	本学個別学力試験なし ただし、看護学部の面接、教育学部 教育学科スポーツ教育コース、音楽 学部の実技等 A日程 1月26日(日)/ 1月27日(月) B日程 2月25日(火) C日程 3月10日(月) に実施	聖徳大学 キャンパス	2月12日(水)	一括納入時:2月19日(水) 二段階納入時 ^{※2} : 一段階目 2月19日(水) 二段階目 2月25日(火)
B 日程	2月1日(土)～2月19日(水)			3月1日(土)	3月10日(月)
C 日程 ^{※1}	2月20日(木)～3月5日(水)			3月14日(金)	3月19日(水)必着

※1 C日程のみ、他学科（短期大学含む）を第二志望とすることが可能ですが、第二志望学科の必須科目（実技等を含む）の受験が必要となるため、十分注意して出願してください。

※2 出願時に申請することにより、二段階納入制度として、一段階目の期日までに入学金のみを納入し、それ以外の納付金については二段階目の期日までに支払うことができます。

☆ 音楽学部音楽学科（プロ・アーティストメジャー）を受験して不合格になった場合でも、音楽学科として合格になる場合があります。

■試験時間割

〈大学 教育学部／心理・福祉学部／文学部／人間栄養学部〉

大学入学共通テストを利用しての入試のため、本学独自での試験は実施しません。

〈大学 教育学部 教育学科スポーツ教育コース〉

区分	日程	試験場	集合時間	「スポーツ実技」
A 日程	1月26日(日)/1月27日(月)	聖徳大学キャンパス	11:30	12:00～※
B 日程	2月25日(火)		11:30	12:00～※
C 日程	3月10日(月)		11:30	12:00～※

※ スポーツ実技の開始時間は受験番号によって異なります。

〈大学 看護学部〉

区分	日程	試験場	集合時間	「面接」
A 日程	1月26日(日)/1月27日(月)	聖徳大学キャンパス	9:30	10:00～※
B 日程	2月25日(火)		13:30	14:00～※
C 日程	3月10日(月)		13:30	14:00～※

※ 面接の開始時間は受験番号によって異なります。

〈大学 音楽学部〉

区分	日程	試験場	集合時間	「音楽実技等」、「面接」
A 日程	1月26日(日)/1月27日(月)	聖徳大学キャンパス	12:30	13:00～※
B 日程	2月25日(火)		12:30	13:00～※
C 日程	3月10日(月)		12:30	13:00～※

※ 音楽実技等、面接の開始時間は受験番号によって異なります。なお、面接はプロ・アーティストメジャー志願者のみ実施します。

〈注意事項〉

〈音楽学部受験生へ〉

- 聖徳大学 SOA 音楽研究センターの「音楽実技認定制度」において、B以上の認定を取得している場合は、音楽実技等を免除します（プロ・アーティストメジャーを除く）。詳細は、本学教育支援課音楽支援グループ（音楽学部事務室）にお問い合わせください。
- 大学キャンパスでの受験生について、練習室は11:00から、一人1時間を限度に使用可能（無料）。希望者は、事前に本学教育支援課音楽支援グループ（音楽学部事務室）にお申し出ください（日・祝日を除く）。TEL047-703-0111（直通）

4. 試験科目（出題範囲）

☆大学入学共通テスト利用選抜において志望学部・学科指定の科目を受験すること。配点／1科目100点

学部	学科・コース	必須科目	選択科目
教育学部	児童学科(昼間主・夜間主) 教育学科(昼間主・夜間主)	「国語(近代以降の文章)※1」	「英語※2」、「数学Ⅰ、数学A※5」、「歴史総合、日本史探究※5」、「歴史総合、世界史探究※5」、「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」、「情報Ⅰ」から1科目選択
心理・福祉学部	心理学科 社会福祉学科	「国語(近代以降の文章)※1」	「英語※2」、「数学Ⅰ、数学A※5」、「歴史総合、日本史探究※5」、「歴史総合、世界史探究※5」、「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」、「情報Ⅰ」から1科目選択
文学部	文学科 教養デザインコース	「英語(リーディング)※2」	「英語(リスニング)※2」、「国語(近代以降の文章)※1」、「数学Ⅰ、数学A※5」、「歴史総合、日本史探究※5」、「歴史総合、世界史探究※5」、「情報Ⅰ」から1科目選択
	文学科 国際文化コミュニケーションコース	「英語(リーディング)※2」	「英語(リスニング)※2」、「国語(近代以降の文章)※1」、「数学Ⅰ、数学A※5」、「歴史総合、日本史探究※5」、「歴史総合、世界史探究※5」、「情報Ⅰ」から1科目選択
	文学科 日本語・日本文学コース	「国語(近代以降の文章)※1」	「国語(古文)※4」、「英語※2」、「数学Ⅰ、数学A※5」、「歴史総合、日本史探究※5」、「歴史総合、世界史探究※5」、「情報Ⅰ」から1科目選択
	文学科 書道文化コース	—	選択科目①と選択科目②を受験する 選択科目① 「国語(近代以降の文章)※1」、「英語※2」から1科目選択 選択科目② (選択科目①との重複は不可) 「国語(近代以降の文章)※1」、「英語※2」、「数学Ⅰ、数学A※5」、「歴史総合、日本史探究※5」、「歴史総合、世界史探究※5」、「情報Ⅰ」から1科目選択
	文学科 歴史文化コース	—	選択科目①と選択科目②を受験する 選択科目① 「国語(近代以降の文章)※1」、「英語※2」から1科目選択 選択科目② (選択科目①との重複は不可) 「国語(近代以降の文章)※1」、「英語※2」、「数学Ⅰ、数学A※5」、「歴史総合、日本史探究※5」、「歴史総合、世界史探究※5」、「情報Ⅰ」から1科目選択
文学部	文学科 図書館情報コース	—	選択科目①と選択科目②を受験する 選択科目① 「国語(近代以降の文章)※1」、「英語※2」から1科目選択 選択科目② (選択科目①との重複は不可) 「国語(近代以降の文章)※1」、「英語※2」、「数学Ⅰ、数学A※5」、「歴史総合、日本史探究※5」、「歴史総合、世界史探究※5」、「情報Ⅰ」から1科目選択
人間栄養学部	人間栄養学科	—	選択科目①：「国語(近代以降の文章)※1」、「英語※2」から1科目選択 選択科目②：「数学Ⅰ、数学A※5」、「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎※3」、「化学」、「生物」、「情報Ⅰ」から1科目選択 選択科目①と選択科目②の両方を選択し、受験する
看護学部	看護学科	「国語(近代以降の文章)※1」	「英語※2」、「数学Ⅰ、数学A※5」、「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」、「化学」、「生物」から1科目選択。
音楽学部	音楽学科	—	「国語(近代以降の文章)※1」、「英語※2」、「数学Ⅰ、数学A※5」、「歴史総合、日本史探究※5」、「歴史総合、世界史探究※5」、「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」、「情報Ⅰ」から2科目選択

※1 「国語(近代以降の文章)」は、100点満点に換算し評価します。

※2 「英語(リーディング)」を5割、「英語(リスニング)」を5割で100点満点に換算し評価します。

ただし、文学部 文学科 教養デザインコースおよび国際文化コミュニケーションコースは、「英語(リーディング)」、「英語(リスニング)」それぞれを1科目100点満点とみなして評価します。

※3 人間栄養学部 人間栄養学科の「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」は、化学基礎と生物基礎を出題範囲とします。

※4 文学部 文学科 日本語・日本文学コースの「国語(古文)」は、古典(古文)を1科目100点満点とみなして評価します。古典(漢文)は対象としません。

※5 旧課程履修者等は上記の試験科目のうち、「歴史総合、日本史探究」にかえて「旧日本史B」、「歴史総合、世界史探究」にかえて「旧世界史B」、「数学Ⅰ、数学A」にかえて「旧数学Ⅰ・旧数学A」を選択することができます。

大学 大学入学共通テスト利用選抜

■入試日程別各科目得点採用方法

〈大学 教育学部／心理・福祉学部／文学部／人間栄養学部／音楽学部〉

A・B日程……………選択科目は、各学部・学科指定の科目の中で高得点のものを合否判定に採用。

C日程……………各学部・学科の必須科目・選択科目の中から、必須・選択に関わらず高得点の2科目を合否判定に採用。

※ただし、人間栄養学部人間栄養学科の場合、選択科目は指定の科目の中で高得点のものを合否判定に採用。

〈大学 看護学部〉

全日程…選択科目は、指定の科目の中で高得点のものを合否判定に採用。

■大学入学共通テスト利用選抜における、外部英語検定試験の活用について

対象となる外部英語検定試験の基準を満たしている場合、大学入学共通テスト利用選抜の「英語」の試験の得点とみなします。

みなし得点	英検 (実用英語技能検定)	GTEC [®] ※1	TOEFL iBT [®] ※2	ケンブリッジ 英語検定	IELTS	TEAP	TEAP CBT [®]
100点	準1級以上	1190以上	72以上	160以上	5.5以上	309以上	600以上
80点	2級	960以上	42以上	140以上	4.0以上	225以上	420以上
70点	準2級	690以上	—	120以上	—	135以上	235以上

※1 GTEC[®] は4技能のオフィシャルスコアが必要。

※2 TOEFL ITP は対象としない。

〈注意事項〉

- (1) 面接の開始時間は受験番号によって異なります。
- (2) 一般選抜と大学入学共通テスト利用選抜は併願ができます。この場合は、1 併願につき 10,000 円入学検定料が減額となります (P.46「複数の入試を同時に出願(併願)することによる入学検定料の減額について」参照)。

〈教育学部教育学科スポーツ教育コース、看護学部、音楽学部の受験生へ〉

- (1) 一般選抜と大学入学共通テスト利用選抜を同一日程で併願する場合は、同じ日に1回の面接や実技等を実施し両方の合否判定をします。試験時間割は、一般選抜を優先して受験してください。
- (2) 教育学部教育学科スポーツ教育コースはスポーツ実技を実施します。ただし、今年度の入試において既に合格し、入学手続済の人は、スポーツ実技は免除となります。
- (3) 看護学部および音楽学部において、今年度の入試において既に合格し、入学手続済の人は、面接、音楽実技等は免除となります。ただし、音楽学部プロ・アーティストメジャー志願者は除きます。

令和7年度 教育学部 教育学科スポーツ教育コース スポーツ実技について

- ・一般選抜においては科目試験の後、大学入学共通テスト利用選抜においては指定する試験時間に、別室で行います。
- ・運動能力テストは、原則として、下記種目の中から指示された1種目を実施します。
実施要領は、文部科学省指定の新体力テスト(12歳～19歳)によって行います。
種目:「上体起こし」または「反復横跳び」
- ・試験時には、運動に適した運動しやすい服装、室内用運動靴を各自準備してください。着替え等の準備については当日指示をします。

令和7年度 文学部 文学科書道文化コース 書道実技試験について

◎試験当日に実施の場合

科目試験の後(試験時間を指定している場合を除く)、別室で行います(試験時間:60分)。

課題と半紙を配付するので、課題に沿って作品を仕上げ、提出してください。

〈持参するもの〉

書道用具一式(筆、硯、墨、文鎮、新聞紙、下敷き) ※提出用の半紙は本学で用意します。(練習用半紙の持参可)

◎出願時に作品提出の場合

学校推薦型選抜(公募制)および大学入学共通テスト利用選抜で、作品を出願時に提出する場合は、過去に各種書道展等に出品したもの、または、最近書いたもの2点とします(半紙あるいは条幅、臨書、創作いずれも可。ただし内容の異なるもの)。本学所定の出願用封筒に、書道作品とその他出願書類を同封して郵送してください。参考までに、各種書道展の賞状のコピーを同封してもかまいません。

※原則として作品は返却しません。(返却希望の場合は申し出てください)

実技特別選抜

音楽学部の音楽実技を軸とした特別選抜です。

音楽学部音楽学科の入学受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）を確認のうえ出願してください。

1. 募集人員

若干名

2. 選考方法

	書類審査 (調査書、志望理由書)	音楽実技等 ^{※1}	面接
大学 音楽学部 音楽学科	○	○	○

※1 音楽実技等の詳細は、音楽実技等課題（P.28～P.31）を参照してください。

*書類審査における、調査書、志望理由書等は、合否判定における総合的判断に活用します。

3. 出願資格

次のいずれかの項目に該当する女性であること。

- 1) 高等学校または中等教育学校を卒業した人、および令和7年3月に卒業見込の人
- 2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した人、および令和7年3月に修了見込の人
- 3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した人、および令和7年3月修了見込の人。またはこれに準ずる人で文部科学大臣の指定した人
- 4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した人、および令和7年3月修了見込の人
- 5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した人
- 6) 文部科学大臣の指定した人（昭和23年文部省告示第47号）
- 7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した人、および令和7年3月までに合格する見込の人
- 8) 学校教育法第90条第3項の規定により大学に入学した人であって、当該者をその後本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた人
- 9) 本学において、個別の入学資格審査^{*}により高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認められた人で、令和7年3月31日までに18歳に達する人

※個別の入学資格審査についてはP.53参照。

4. 入試日程・時間割

入試日程等

願書受付期間(必着)	入試日	試験場	合格発表	入学手続期限(必着)
2月20日(木)～3月5日(水)	3月10日(月)	聖徳大学キャンパス	3月14日(金)	3月19日(水)

試験時間割

試験場	試験室入室	「音楽実技等」、「面接」
聖徳大学キャンパス	10:00まで	10:30～

※音楽実技等、面接の開始時間は、受験番号によって異なります。

※音楽学部音楽学科（プロ・アーティストメジャー）を受験して不合格になった場合でも、音楽学科として合格になる場合があります。

令和7年度 音楽学部 音楽学科 音楽実技等課題

学校推薦型選抜（公募制）

次の A、B いずれかを選択する。

A. 下記の中から選択して任意の 1 曲を演奏する。

声楽・ミュージカル（ヴォーカル）・ピアノ・電子オルガン・パイプオルガン・管楽器・弦楽器・打楽器

B. 自分で制作した音楽作品を提出する。

A に関する注意事項

- ※ 1 暗譜の必要はない。
- ※ 2 場合によっては、曲の途中で演奏を終了してもらうことがある。
- ※ 3 声楽・ミュージカル（ヴォーカル）を選択した場合は、伴奏譜に氏名を記入の上、出願時に提出すること。ピアノ伴奏は大学側で担当する。
- ※ 4 ミュージカル（ヴォーカル）を選択し、ピアノ伴奏以外の音源を使用する場合は、出願時に音源の種類を記入し当日持参すること。
- ※ 5 楽器は原則として各自で持参すること。ただし、大型楽器については事前に本学教育支援課音楽支援グループ（音楽学部事務室）に問い合わせること（日・祝日を除く）。TEL.047-703-0111（直通）
- ※ 6 ピアノ・電子オルガン・パイプオルガン・管楽器・弦楽器・打楽器を選択する場合は、使用している楽譜を持参のこと。
- ※ 7 打楽器は小太鼓またはマリンバで受験すること。本学の楽器を借用することは可。希望者は事前に申し出ること。
- ※ 8 上記以外の楽器等での受験の場合は事前に本学教育支援課音楽支援グループ（音楽学部事務室）に問い合わせること（日・祝日を除く）。TEL.047-703-0111（直通）

B に関する注意事項

- ※ 自分で作曲または編曲した作品の楽譜か録音物、あるいはシーケンスデータ（MIDI ファイル）を願書とともに提出する。編曲の場合には、参考にした楽譜を添付すること。

一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜、実技特別選抜

次の A、B いずれかを選択する。

A. 下記の中から選択して任意の 1 曲を演奏する。

声楽・ミュージカル（ヴォーカル）・ピアノ・電子オルガン・パイプオルガン・管楽器・弦楽器・打楽器

B. 自分で制作した音楽作品を提出する。

A に関する注意事項

- ※ 1 暗譜の必要はない。
- ※ 2 場合によっては、曲の途中で演奏を終了してもらうことがある。
- ※ 3 声楽・ミュージカル（ヴォーカル）を選択した場合は、伴奏譜に氏名を記入の上、出願時に提出すること。ピアノ伴奏は大学側で担当する。
- ※ 4 ミュージカル（ヴォーカル）を選択し、ピアノ伴奏以外の音源を使用する場合は、出願時に音源の種類を記入し当日持参すること。
- ※ 5 楽器は原則として各自で持参すること。ただし、大型楽器については事前に本学教育支援課音楽支援グループ（音楽学部事務室）に問い合わせること（日・祝日を除く）。TEL.047-703-0111（直通）
- ※ 6 ピアノ・電子オルガン・パイプオルガン・管楽器・弦楽器・打楽器を選択する場合は、使用している楽譜を持参のこと。
- ※ 7 打楽器は小太鼓またはマリンバで受験すること。本学の楽器を借用することは可。希望者は事前に申し出ること。

B に関する注意事項

- ※ 自分で作曲または編曲した作品の楽譜か録音物、あるいはシーケンスデータ（MIDI ファイル）を願書とともに提出する。編曲の場合には、参考にした楽譜を添付すること。

プロ・アーティストメジャー

下記の種目のいずれか1つを選択する。

●声楽

I. 専門実技：歌曲あるいはアリアより任意の3曲を演奏する（日本歌曲を含む。10分以内）。

- ※アリアについては原調のこと。
- ※歌詞は原語、暗譜で演奏のこと。
- ※伴奏譜に氏名を記入の上、出願時に提出すること。
- ※ピアノ伴奏は大学側で担当する。
- ※演奏を10分以内に収めるためのカットは自由。

●ミュージカル

I. 専門実技：次の①、および②を行う。

- ①ヴォーカル：任意のミュージカル・ナンバー2曲を演奏する。
 - ※歌詞・調性は自由、暗譜で演奏のこと。
 - ※ピアノ伴奏は大学側で担当する。伴奏譜に氏名を記入の上、出願時に提出すること。
 - ※ピアノ伴奏以外の音源を必要とする場合は、出願時に音源の種類を記入し、当日持参すること。
- ②以下のA、B、Cから2つ選択する。
 - A. 朗読：任意の詩または台詞を朗読する（1分程度）。
 - ※暗記の必要はない。
 - ※朗読原稿に氏名を記入の上、出願時に提出すること。
 - B. ダンス：内容は自由（2分程度）。
 - ※動きやすい服装で受験すること。
 - ※出願時に音源の種類を記入し、当日持参すること。
 - C. 演技：当日出題された課題を演じる。

●ピアノ

I. 専門実技：下記の①～⑥を課す。

- ①下記の作曲家の練習曲集より1曲。
 - F. ショパン、R. シューマン、F. リスト、C. ドビュッシー、S. ラフマニノフ、
 - A. スクリャービン、S. プロコフィエフ、B. バルトーク、G. リゲティ
- ②以下のA、Bから1つ選択する。
 - A. J. S. バッハ：平均律クラヴィーア曲集より1曲（前奏曲とフーガ）。
 - B. 下記の作曲家の練習曲集より1曲。
 - ※①と同じ曲は不可。同じ作曲家は可。
 - F. ショパン、R. シューマン、F. リスト、C. ドビュッシー、S. ラフマニノフ、
 - A. スクリャービン、S. プロコフィエフ、B. バルトーク、G. リゲティ
- ③L. v. ベートーヴェンのピアノソナタより任意の第1楽章（Op. 49-1、Op. 49-2、Op. 79は除く）。
 - ※Op. 27-1、Op. 27-2、Op. 101、Op. 109については第1～2楽章を続けて演奏すること。
- ④自由曲12分以上。
 - ※複数の作曲家の作品を組み合わせてもよい。
 - ※③のL. v. ベートーヴェンのソナタの残りの楽章を含めてもよい。
 - ※出版されている作品に限る。
 - ※ソナタの楽章抜粋、小品集、組曲からの抜粋は認める。変奏曲からの抜粋は認めない。
 - ※①～④は暗譜で演奏のこと。
 - ※くり返しはなし。ただし、D.C.、D.S.、8小節以内の短いくり返しを除く。
- ⑤口述試問：演奏した作品に関して、音程、音階、調性、和音、楽語についての試問を行う。
- ⑥初見演奏：新曲視奏（16小節程度、大譜表による）。

●電子オルガン

I. 専門実技：下記の①～④を演奏する（暗譜の必要はない）。

- ①課題曲：エレクトーン・クラシック曲集 グレード5級、または4・3級（一般財団法人ヤマハ音楽振興会発行）より任意の1曲。
- ②自由曲：グレード5～3級表示の独奏曲（出版社は問わない）あるいは自編曲・自作曲による独奏曲1曲。
 - ※自編曲・自作曲については、試験当日に楽譜を提示のこと。
- ③初見演奏：新曲視奏（8～16小節、3段譜による）。
- ④即興演奏：16小節程度のコードネーム付き旋律を即興的に編曲演奏する。

●パイプオルガン

I. 専門実技：下記の①～③を演奏する（暗譜の必要はない）。

- ① J. S. バッハのオルガン曲（ペダルの有無は問わない）より任意の1曲。
- ② 自由曲：自分の得意な時代分野のオルガン曲（ただし、オリジナル曲に限る）より任意の1曲。
※レジストラントは大学側で担当する。
※事前練習の時間を与える。
- ③ 初見演奏：4声体コラールの視奏（10～16小節程度、大段譜による）。

●管楽器

I. 専門実技：下記の曲を演奏する（指定の無い限り版およびカデンツは自由。暗譜の必要はない）。
無伴奏で演奏する。

フルート

- W. A. モーツァルト：フルート協奏曲第1番 G-Dur KV313 より第1楽章（カデンツ付き）
または
W. A. モーツァルト：フルート協奏曲第2番 D-Dur KV314 より第1楽章（カデンツ付き）

オーボエ

- F. J. ハイドン：オーボエ協奏曲 C-Dur より第1楽章（カデンツ付き）
または
L. A. ルブラン：オーボエ協奏曲 第1番 d-Moll より第1楽章（カデンツ付き）

クラリネット

- C. M. v. ウェーバー：クラリネット小協奏曲 op. 26

ファゴット

- C. シュターミツ：ファゴット協奏曲 F-Dur より第1楽章（カデンツ付き、Sikorski 版）

サクソフォン

- A. グラズノフ：サクソフォン協奏曲 冒頭からカデンツの最後まで
または
P. クレストン：サクソフォン・ソナタ op. 19 より第1楽章

ホルン

- W. A. モーツァルト：ホルン協奏曲第2番 Es-Dur KV417 より第1楽章
または
W. A. モーツァルト：ホルン協奏曲第4番 Es-Dur KV495 より第1楽章（カデンツ付き）
または
R. シュトラウス：ホルン協奏曲第1番 Es-Dur op.11 より第1楽章

トランペット

- T. シャルリエ：36の超絶技巧練習曲（Leduc 版）より第2番
または
T. シャルリエ：演奏会用独奏曲

トロンボーン

- ・テナー・トロンボーン
- E. ザクセ：小協奏曲 B-Dur（International Music Company 版）
- ・バス・トロンボーン
- E. ザクセ：協奏曲 F-Dur（バス・トロンボーン用、Zimmermann 版）

ユーフォニアム

- P. V. デ・ラ・ヌー：コンサート・ピース

チューバ

- M. アーノルド：ファンタジー オブ テューバ（楽器の指定なし）

●弦楽器

- I. 専門実技：下記の曲を演奏する（指定の無い限り版およびカデンツは自由。暗譜の必要はない）。
無伴奏で演奏する。

ヴァイオリン

- W. A. モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第3番 G-Dur KV216 より第1楽章（カデンツ付き）
または
W. A. モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第4番 D-Dur KV218 より第1楽章（カデンツ付き）
または
W. A. モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第5番 A-Dur KV219 より第1楽章（カデンツ付き）

ヴィオラ

- C. シュターミッツ：ヴィオラ協奏曲第1番 D-Dur より第1楽章（カデンツ付き）

チェロ

- F. J. ハイドン：チェロ協奏曲第1番 C-Dur より第1楽章（任意のカデンツ付き、ヘンレ版）
または
F. J. ハイドン：チェロ協奏曲第2番 D-Dur より第1楽章（任意のカデンツ付き、ヘンレ版）

コントラバス

- G. A. カプツィ：コントラバス協奏曲 F-Dur より第1楽章
または
V. ピフル：コントラバス協奏曲 D-Dur より第1楽章

●打楽器

- I. 専門実技：下記の曲を演奏する（指定の無い限り版およびカデンツは自由。暗譜の必要はない）。
無伴奏で演奏する。

小太鼓での受験

- S. フィンク：小太鼓組曲 より 1. Intrada, 2. toccata, 3. mista, 5. marcia

マリンバでの受験

- 三木稔：マリンバの時

●コンピュータ音楽制作

- I. 専門実技：下記の①、および②を課す。

- ①自分で作曲または編曲した作品の楽譜が録音物、あるいはシーケンスデータ（MIDI ファイル）を願書とともに提出する。編曲の場合には参考にした楽譜を添付すること（提出作品の返却はしない）。
②口述試問：提出された作品に関する簡単な試問を行う。

令和7年度 音楽学部 音楽学科 動画提出について

学校推薦型選抜（公募制）における音楽実技等・面接、大学入学共通テスト利用選抜・一般選抜における音楽実技等は動画提出にかえることができる。動画提出の方法と内容については、願書受付期間前に本学教育支援課音楽支援グループ（音楽学部事務室 TEL.047-703-0111）に問い合わせること。

音楽学部 音楽系部活動 顧問推薦制度

学校推薦型選抜（公募制）では、音楽系部活動顧問推薦制度にて出願をする場合、音楽学科への推薦条件のうち、学習成績の状況の条件を除外して出願することを認める。顧問推薦書を顧問が記入し、出願時に他の出願書類に同封して提出することが必要。

入学試験 要項

短期大学編

*このページは短期大学編です。
大学編は P.15 ～ P.31 を参照してください。

- 保育科第一部
幼稚園教諭コース
保育士コース
- 保育科第二部
幼稚園教諭コース
保育士コース
- 総合文化学科
図書館司書・ITコース
国際観光・ホテルコース
フードマネジメントコース(フード・製菓)
ファッション・造形デザインコース

学校推薦型選抜（公募制）

所定の出願資格を満たし、高等学校長の推薦が得られる人が受験できる入試方式です。

* 志望する学科の入学受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）を確認のうえ出願してください。

1. 試験方式・選考方法

	書類審査 (調査書、推薦書、活動報告・志望理由書)	小論文*	面接
短期大学 保育科（第一部・第二部） 総合文化学科	○	○	○

* 小論文課題はP.40に掲載。出願時に提出してください。

* 書類審査における、調査書、志望理由書等は、合否判定における総合的判断に活用します。

2. 出願資格

次のすべての項目を満たす女性であること。

- 1) 高等学校もしくは中等教育学校を令和6年3月に卒業した人、または令和7年3月に卒業見込の人
- 2) 本学を第一志望とし、人物、学業、健康ともにすぐれ、出身学校長の推薦を受けられる人
- 3) 志望学部・学科の実技、実験、実習（学外の実習を含む）等に支障のない人。また、免許、資格等を取得する場合は、当該の実技、実験、実習（学外の実習を含む）等に支障のない人
- 4) 全体の学習成績の状況（全体の評価平均値）が3.0以上、または高等学校で履修した教科のうちいずれか1教科が3.2以上の人

3. 入試日程・時間割

■入試日程等

区分(日程)	願書受付期間(必着)	入試日	試験場	合格発表	入学手続期限 (消印有効)
前期	11月1日(金)～11月11日(月) [Web登録:10月25日(金)から]	11月17日(日)	聖徳大学キャンパス	12月2日(月)	12月13日(金)
			サテライト試験場		
後期	12月2日(月)～12月10日(火)	12月15日(日)	聖徳大学キャンパス	12月20日(金)	1月8日(水)

■試験時間割

試験場	試験室入室	「面接」
大学キャンパス	8:30まで	9:00～
サテライト試験場	8:30まで	9:00～

☆面接の開始時間は、受験番号によって異なる。

〈注意事項〉

学校推薦型選抜（公募制）で合格し入学手続済の人は、入学を担保したまま、その後実施される一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜に出願し、〈得点基準明示型〉学力特待制度に挑戦することが可能です。その場合、一般選抜A日程および大学入学共通テスト利用選抜A日程（両方への出願も可）に限り入学検定料が免除となります。〈得点基準明示型〉学力特待制度の基準を満たした場合、再度入学手続書類を提出することにより、新たに授業料等の免除が受けられます。なお、追加で取得した減免は、入学後1年次秋学期以降の納付金に適用し免除します。

* 大学入学共通テストの受験には、別途検定料が必要です。

一般選抜

科目試験を軸とした入試。得意な科目、日程で受験できます。

* 志望する学科の入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）を確認のうえ出願してください。

1. 選考方法

	書類審査 (調査書、志望理由書等)	科目試験
短期大学 保育科（第一部・第二部） 総合文化学科	○	○ 1科目

* 書類審査における、調査書、志望理由書等は、合否判定における総合的判断に活用します。

2. 出願資格

次のいずれかの項目に該当する女性であること。

- 1) 高等学校または中等教育学校を卒業した人、および令和 7 年 3 月に卒業見込の人
- 2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した人、および令和 7 年 3 月に修了見込の人
- 3) 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した人、および令和 7 年 3 月修了見込の人。またはこれに準ずる人で文部科学大臣の指定した人
- 4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した人、および令和 7 年 3 月修了見込の人
- 5) 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した人
- 6) 文部科学大臣の指定した人（昭和 23 年文部省告示第 47 号）
- 7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した人、および令和 7 年 3 月までに合格する見込の人
- 8) 学校教育法第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した人であって、当該者をその後本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたと認めた人
- 9) 本学において、個別の入学資格審査*により高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認めたと認めた人で、令和 7 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する人

* 個別の入学資格審査については P.53 参照してください。

3. 入試日程・時間割

■入試日程等

区分(日程)	願書受付期間(必着)	入試日	試験場	合格発表	入学手続期限(消印有効)
A 日程	12月16日(月)～1月20日(月)	1月26日(日) ^{※1} 1月27日(月)	聖徳大学キャンパス	2月4日(火)	一括納入時:2月12日(水) 二段階納入時 ^{※3} : 一段階目 2月12日(水) 二段階目 2月19日(水)
			サテライト試験場		
B 日程	2月1日(土)～2月19日(水)	2月25日(火)	聖徳大学キャンパス	3月1日(土)	3月10日(月)
C 日程 ^{※2}	2月20日(木)～3月5日(水)	3月10日(月)		3月14日(金)	3月19日(水)必着

※ 1 A 日程は試験日を 2 日間設けていますが、いずれか 1 日もしくは両日を選ぶことができます。ただしサテライト試験場は 1 月 26 日(日)のみ実施します。

※ 2 C 日程のみ、他学科（大学含む）を第二志望とすることが可能ですが、第二志望学科の必須科目（実技等を含む）の受験が必要となるため、十分注意して出願してください。

※ 3 出願時に申請することにより、二段階納入制度として、一段階目の期日までに入学金のみを納入し、それ以外の納付金については二段階目の期日までに支払うことができます。

☆サテライト試験場については、P.8・P.9 を参照してください。

短期大学 一般選抜

■試験時間割

志望学科、方式ごとの試験科目（出題範囲）下記を確認の上、指定された科目を受験してください。

※サテライト試験場の詳細は P.8・P.9 を参照してください。

聖徳大学キャンパス サテライト試験場

〈短期大学 保育科〉

(1) 選択科目で「英語」を選択する場合

集合時間	「英語」
8:30	9:00～10:00

(2) 選択科目で「国語」を選択する場合

集合時間	「国語」
9:50	10:30～11:30

〈短期大学 総合文化学科〉

(1) 選択科目で「英語」を選択する場合

集合時間	「英語」
8:30	9:00～10:00

(2) 選択科目で「国語」を選択する場合

集合時間	「国語」
9:50	10:30～11:30

(3) 選択科目で「数学Ⅰ, 数学A」を選択する場合

集合時間	「数学Ⅰ, 数学A」
11:20	12:00～13:00

4. 試験科目（出題範囲）

●試験時間 60分（1科目）、配点／1科目 100点

学部・学科		必須科目	選択科目
短期大学	保育科（第一部・第二部）	—	「国語 ^{※1} 」、「英語 ^{※2} 」から1科目選択
	総合文化学科	—	「国語 ^{※1} 」、「英語 ^{※2} 」、「数学Ⅰ, 数学A」から1科目選択

※1 「国語」は、「現代の国語」、「言語文化（近代以降の文章）」の内容を出題範囲とし、近代以降の文章を出題します。

※2 英語は、「英語コミュニケーションⅠ」「論理, 表現Ⅰ」「英語コミュニケーションⅡ」を出題範囲とします。

■一般選抜における、外部英語検定試験の活用について

対象となる外部英語検定試験の基準を満たしている場合、一般選抜の「英語」の試験の得点とみなします。試験当日に「英語」の受験をすることも可能。受験した場合は、どちらか高得点となる点数で合否判定を行います。ただし、志願者が、選択科目において「英語」以外の科目を受験した場合、みなし得点は無効となります。

みなし得点	英検 (実用英語技能検定)	GTEC [®] ※1	TOEFL iBT [®] ※2	ケンブリッジ 英語検定	IELTS	TEAP	TEAP CBT [®]
100点	準1級以上	1190以上	72以上	160以上	5.5以上	309以上	600以上
80点	2級	960以上	42以上	140以上	4.0以上	225以上	420以上
70点	準2級	690以上	—	120以上	—	135以上	235以上

※1 GTEC[®] は4技能のオフィシャルスコアが必要。

※2 TOEFL ITP は対象としない。

〈注意事項〉

一般選抜と大学入学共通テスト利用選抜は併願ができます。この場合は、1併願につき10,000円入学検定料が減額となります（P.46「複数の入試を同時に出願（併願）することによる入学検定料の減額について」参照）。

大学入学共通テスト利用選抜

大学入学共通テストの得点を利用して合否判定します。

* 志望する学科の入学受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）を確認のうえ出願してください。

1. 選考方法

	書類審査 (調査書、志望理由書等)	科目試験*
短期大学 保育科（第一部・第二部） 総合文化学科	○	○ 1科目

※ 科目試験については、大学入学共通テストにおいて指定の科目を受験してください（大学独自の学力試験は実施しません）。

* 書類審査における、調査書、志望理由書等は、合否判定における総合的判断に活用します。

2. 出願資格

次のいずれかの項目に該当する女性であること。

- 1) 高等学校または中等教育学校を卒業した人、および令和7年3月に卒業見込の人
- 2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した人、および令和7年3月に修了見込の人
- 3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した人、および令和7年3月修了見込の人。またはこれに準ずる人で文部科学大臣の指定した人
- 4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した人、および令和7年3月修了見込の人
- 5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した人
- 6) 文部科学大臣の指定した人（昭和23年文部省告示第47号）
- 7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した人、および令和7年3月までに合格する見込の人
- 8) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した人であって、当該者をその後本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた人
- 9) 本学において、個別の入学資格審査*により高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認められた人で、令和7年3月31日までに18歳に達する人

※ 個別の入学資格審査については P.53 参照してください。

3. 入試日程・時間割

各日程とも複数学部・学科（昼夜・コース）への併願が可能です。

■入試日程等

区分(日程)	願書受付期間(必着)	入試日	試験場	合格発表	入学手続期限(消印有効)
A 日程	12月16日(月)～1月20日(月)	本学個別学力試験なし	—	2月12日(水)	一括納入時:2月19日(水) 二段階納入時**2: 一段階目 2月19日(水) 二段階目 2月25日(火)
B 日程	2月1日(土)～2月19日(水)			3月1日(土)	3月10日(月)
C 日程**1	2月20日(木)～3月5日(水)			3月14日(金)	3月19日(水)必着

※ 1 C 日程のみ、他学科（大学含む）を第二志望とすることが可能ですが、第二志望学科の必須科目（実技等を含む）の受験が必要となるため、十分注意して出願してください。

※ 2 出願時に申請することにより、二段階納入制度として、一段階目の期日までに入学金のみを納入し、それ以外の納付金については二段階目の期日までに支払うことができます。

4. 試験科目 (出題範囲)

☆大学入学共通テストにおいて志望学部・学科指定の科目を受験してください。配点/1科目 100点

	学部・学科	必須科目	選択科目
短期大学	保育科(第一部・第二部)	—	「国語(近代以降の文章)※1」、「英語※2」から1科目選択
	総合文化学科	—	「国語(近代以降の文章)※1」、「英語※2」、「数学Ⅰ, 数学A※3」から1科目選択

※1 「国語(近代以降の文章)」は、100点満点に換算し評価します。

※2 「英語(リーディング)」を5割、「英語(リスニング)」を5割で100点満点に換算し評価します。

※3 旧課程履修者等は上記の試験科目のうち、「数学Ⅰ, 数学A」にかえて「旧数学Ⅰ・旧数学A」を選択することができます。

各科目得点採用方法

選択科目は、学科指定科目の中で高得点のものを合否判定に採用。

■大学入学共通テスト利用選抜における、外部英語検定試験の活用について

対象となる外部英語検定試験の基準を満たしている場合、大学入学共通テスト利用選抜の「英語」の試験の得点とみなします。

みなし得点	英検 (実用英語技能検定)	GTEC®※1	TOEFL iBT®※2	ケンブリッジ 英語検定	IELTS	TEAP	TEAP CBT®
100点	準1級以上	1190以上	72以上	160以上	5.5以上	309以上	600以上
80点	2級	960以上	42以上	140以上	4.0以上	225以上	420以上
70点	準2級	690以上	—	120以上	—	135以上	235以上

※1 GTEC® は4技能のオフィシャルスコアが必要。

※2 TOEFL ITP は対象としない。

〈注意事項〉

一般選抜と大学入学共通テスト利用選抜は併願ができます。この場合は、1併願につき10,000円入学検定料が減額となります(P.46「複数の入試を同時に出願(併願)することによる入学検定料の減額について」参照)。

令和7年度 | 学校推薦型選抜(公募制)小論文課題

出願した学部・学科の指定課題の中から1つを選択し、800字以内(看護学部のみ400字以内)で作成してください。
(出願書類と一緒に提出)

※出願した学部・学科以外の指定課題を選択した場合は、採点の対象外となる。

○教育学部

<児童学科昼間主・夜間主指定課題>

1. 人の心に寄り添うとは具体的にどのような行動をすることだと考えますか。乳幼児の場合と保護者の場合に分けて、あなたの見解を述べてください。
2. あなたは自分自身を成長させるためにどのような努力をしてきましたか。高校までの自身の経験を例にあげて述べてください。
3. 子どもにとって遊びはとても大切なものです。それはどうしてだと思いますか。あなたの考えを述べてください。

<教育学科昼間主・夜間主指定課題>

1. 教師が子ども(学習者)と良好な関係を築いていくためには、子どもから信頼される教師になることが必要だといわれています。子どもから信頼される教師とは、どのような教師だと思いますか。あなたの考えを述べてください。
2. あなたが理想とする教師とは、どのような教師か述べてください。そして、その理想とする教師像に近づくために、どのような努力をしようと思っているか述べてください。
3. ある目的を達成するために集団で活動するためには、「思いやり」と「協調性」が必要だといわれています。なぜ、集団で活動するときには「思いやり」と「協調性」が必要なのか、あなたの過去の経験から具体的に述べてください。

○心理・福祉学部

<心理学科指定課題>

1. 新聞、テレビ等で報道された出来事から、自身が関心のあるテーマを選び、なぜ関心をもったのかも含めて、その出来事に対する自分の考えを自由に書いてください。
2. 今まで読んだ本の中で、最も印象に残っている本をあげて、その本について、他の人に推薦する文章を書いてください。
3. 「主体的に学ぶ」とはどのようなことだと考えますか。あなたの考えを自由に書いてください。

<社会福祉学科指定課題>

1. 色々な考えを持った仲間と協力して達成した出来事を一つあげ、その経験から何を学んだか述べてください。
2. 今までの高校生活の中で、何かに取り組み始めたがやりきることができなかった経験を一つあげ、その原因を述べてください。その上で、もう一度取り組むならどのようなことを改善するかを書いてください。
3. 自分の強みは何かを示してください。その際、具体例を一つあげてわかりやすく述べてください。

○文学部

<文学科指定課題>

1. 「志望動機について」
素直な気持ちを書いてください。
2. 「将来の夢・目標について」
素直な気持ちを書いてください。
3. 「高校時代に力を入れたことについて」
素直な気持ちを書いてください。

学校推薦型選抜(公募制) 大学

○人間栄養学部

<人間栄養学科指定課題>

1. 食品の賞味期限と消費期限の違いを明らかにし、食生活の中で関連する対応についてあなたの考えを記述してください。
2. 自分の将来の姿を考えるにあたって、本学の人間栄養学科の専門的な学びを、どのように深めたいと思いますか。あなたの考えを述べてください。
3. 管理栄養士の資格と家庭科教員免許の関係について、あなたの考えを記述してください。

一般選抜 大学

○看護学部

<看護学科指定課題>

1. 看護師（保健師）をめざそうと思ったきっかけと、それに向けて努力してきたことを述べてください。
2. あなたの経験を振り返り、チームワークに必要な力について述べてください。
3. 災害に関連したニュースを取り上げ、あなたが感じた生命の大切さについて述べてください。

音楽学部 大学

○短期大学

<保育科第一部・第二部指定課題>

1. 最近読んだ本（教科書は除く）の中で、どのようなことに感銘を受けましたか。本の題名、著者名も記述してください。
2. 学校生活やボランティア活動などにおける仲間と協働した経験を通して、あなたが学んだことや成長したことについて記述してください。
3. 子どもと関わる上で必要だと思う配慮や心構えにはどのようなものがあるか、その理由と共に記述してください。

学校推薦型選抜(公募制)小論文課題 大学/短期大学

<総合文化学科指定課題>

1. サステナブルな（「持続可能な」、「維持できる」という意）社会をめざして、将来、あなたが取り組んでみたいことは何ですか。あなたが志望するコースに関連づけて説明してください。
2. 人間関係が希薄化していると言われる現代ですが、地域ではどのような活動が必要だと考えますか。また、あなたが取り組みたい、あるいは取り組めそうな活動は何ですか。具体例を挙げて説明してください。
3. 短期大学に入学後、あなたが2年間で身につけたいことは何ですか。具体例を挙げ、その理由も述べてください。

出願について [Web出願]

1. 出願の流れ

重要 一度提出された書類および納入された入学検定料は、いかなる理由があっても返還しないので十分確認の上、出願してください。

出願前の準備

入学試験要項を確認する。

出願登録

聖徳大学ホームページ 受験生応援サイトからWeb出願サイトにアクセスし、出願期間中に、出願申込（画面に従って出願内容の選択、必要事項を入力）をする。
顔写真はスマートフォン等で撮影しアップロードする。
※現物の写真をカメラで撮影したものは使用できません。

検定料納付

入学検定料を支払う。
(コンビニ、クレジットカード、Pay-easy (ペイジー) による決済が可能)

出願書類作成

出願書類をダウンロード・印刷し、必要事項を記入する。

郵送

出願書類を郵送する。

受験票

大学が出願書類の確認を完了した後に、Web出願時に登録したメールアドレス宛に受験票ダウンロードメールが送信される。
Web出願ページから受験票を印刷する。

入試

印刷した受験票を、入試当日持参する。

合否発表

Web出願ページにて発表。ログインし合否を確認する。

2. 出願書類

○印は全員提出、☆印は該当者のみ提出。

(出願書類は Web 出願専用サイトに掲載のものを A4 の用紙にプリントアウトして使用してください。その際、両面の書類については、両面印刷をするか、片面印刷をした 2 枚を左上ホチキス留めしてください)

P.43～P.45 の 1.～16. を必ず確認してください。

出願書類	様式	(学校推薦型選抜(公募制))	大学入学共通テスト利用選抜	一般選抜	実技特別選抜	備考	チェック欄
封筒貼付用宛名ラベル		○	○	○	○	出願書類を封入した封筒の表面に貼り付ける。	
1. 入学願書	Ⓐ	○	○	○	○	※入試方式で様式が異なる	
2. 活動報告・志望理由書	Ⓒ	○					
3. 推薦書	Ⓕ	○				学校長が発行したもの	
4. 志望理由書	Ⓑ		○	○	○		
5. 調査書(開封無効)		○	○	○	○	学校長が発行したもの	
	受験資格を証明する書類		☆	☆	☆		
6. 学業成績証明書			☆	☆	☆	学校長が発行したもの 出願前 3 か月以内のもの	
7. 卒業(修了)証明書			☆	☆	☆	学校長が発行したもの 出願前 3 か月以内のもの	
8. 大学入学共通テスト成績請求票			○			入学願書に貼る	
9. 英語外部試験の合格証明書等(コピー)		☆				文学部文芸科国際文化コミュニケーションコース志願者は全員提出 資格ごとの提出書類は下記参照 ^{※1,※2}	
10. 小論文用原稿用紙	Ⓖ	☆				音楽学部志願者以外は全員提出	
11. 音楽学部実技試験/受験曲目申込書	Ⓗ	☆	☆	☆	○	音楽学部志願者は全員提出 ※入試方式で様式が異なる	
12. 顧問推薦書		☆				音楽系部活動顧問推薦制度を利用する場合は提出 (音楽学部のみ利用可)	
13. グローバル特待制度・資格特待制度適用申請書		☆				学校推薦型選抜(公募制)の志願者で、適用を希望する場合は提出 資格の保有を証明する書類は資格ごとに異なるので、「グローバル特待制度・資格特待制度適用申請書Ⓖ」の裏面を確認すること ^{※2}	
	資格の保有を証明する書類(コピー)	☆					
14. 外部英語検定試験の基準を満たすことを示す書類			☆	☆		一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜において外部英語検定試験を活用する場合は提出	
留学生のみのみ	15. 経費支弁書	Ⓖ	☆	☆	☆	留学生は必ず提出	
	16. 住民票		☆	☆	☆	留学生は必ず提出	

◎証明書および調査書等は、出願前 3 か月以内に発行のものを提出してください。(資格の保有を証明する合格証明書は除く)

重要 ●証明書が外国語の人は、日本語学校や大使館、翻訳機関が翻訳した日本語訳、翻訳証明書を提出すること。
志願者本人による翻訳は認めない。

◎調査書は、出願書類を提出する段階で確定している最新の成績まで記入されているものを提出してください。

◎上記証明書において姓名変更がある場合は戸籍抄本を提出してください。

◎学校推薦型選抜(公募制)で合格し、入学手続済の人が、その後実施される一般選抜 A 日程・大学入学共通テスト利用選抜 A 日程に出願する場合、入学検定料が免除となります。

※ 1

検定試験	提出する書類(コピー)
実用英語技能検定(英検)	合格証書または合格証明書
GTEC [®] ^{※a}	OFFICIAL SCORE CERTIFICATE
TOEFL iBT [®] ^{※b}	Test Taker Score Report または Examinee Score Report
ケンブリッジ英語検定	Certificate (合格証明書) および Statement of Results (結果ステートメント)
IELTS	アカデミック・モジュール成績証明書(Test Report Form)
TEAP	成績表
TEAP CBT [®]	成績表
TOEIC L&R/S&W ^{※c}	Official Score Certificate (公式認定証)

※ a GTEC[®] は 4 技能のオフィシャルスコアが必要。
 ※ b TOEFL ITP は対象としない。
 ※ c TOEIC IP は対象としない。

※ 2 資格の証明書について

原本は提出せず、当該証明書のコピーを提出してください。原本を提出した場合、原本の返却には一切応じられません。

◎封筒貼付用宛名ラベル

Web 出願登録完了後の画面から表示・印刷(A4)し、出願書類を封入した封筒の表面に貼り付けてください。

1. 入学願書(様式A)〈全員提出〉

願書の記入は、自筆ペン書き(黒のボールペン等。鉛筆、消せるボールペンは不可)で、記入。

項目によって記入することがない場合は“なし”と記入。

注)8「入学後の予定している住所」については、(1)自宅(2)学生寮(3)祖父母宅、兄弟姉妹宅あるいは伯叔父母宅(4)(自宅以外の)アパート等より1つ選択してください。出願時以降変更する場合は、必ず本学入学センター入試係へ連絡してください。

※(2)学生寮に✓印を付した場合は「入寮願」を入学手続き時に提出してください。

2. 活動報告・志望理由書C〈学校推薦型選抜(公募制)志願者は提出〉

自筆ペン書き。(黒のボールペン等。鉛筆、消せるボールペンは不可)

3. 推薦書(様式F)〈学校推薦型選抜(公募制)志願者は提出〉

学校長よりの親展封書としてください。(開封無効)

4. 志望理由書B〈一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜、実技特別選抜志願者は提出〉

自筆ペン書き。(黒のボールペン等。鉛筆、消せるボールペンは不可)

複数学科を志望する場合でも提出は1枚です。1枚に内容をまとめてください。

5. 調査書または受験資格を証明する書類〈全員提出〉

※同一の出願期間内に複数出願する場合で、同時出願(同封)する場合は1通でかまいません。

①調査書は学校長作成の封書とし、開封すると無効となります。

※転入学等の理由で前籍校がある場合は、調査書に前籍校名そして前籍校での記録も記載されていることが必要です。

②調査書を提出できない場合は、調査書が発行できない旨の証明書(高等学校発行のもの)と、出願資格に該当する最終の学業成績証明書と卒業(修了)証明書を提出してください。

③一般選抜と大学入学共通テスト利用選抜等で同時出願(同封)する場合は、調査書は1通でかまいません。

■高等学校卒業程度認定試験合格者は、「合格成績証明書」を提出してください。合格見込みの場合は、「合格見込成績証明書」を提出してください。なお、免除科目がある場合は高等学校の「調査書」または「成績証明書」を提出してください。

6. 学業成績証明書〈該当者は提出〉

調査書がある場合は不要です。

7. 卒業(修了)証明書〈該当者は提出〉

調査書がある場合は不要です。

8. 大学入学共通テスト成績請求票〈該当者は提出〉

大学入学共通テスト利用選抜で受験する人は、令和6年度大学入学共通テスト成績請求票[私立大学・公私立短期大学用]を入学願書に貼り付けしてください。

9. 英語外部試験の合格証明書等(コピー)〈文学部文学科国際文化コミュニケーションコース志願者は全員提出〉

資格ごとの提出書類をよく確認してください。次ページ13・14と同一の証明書を利用する場合も別途提出が必要です。

10. 小論文用原稿用紙G 〈学校推薦型選抜(公募制)志願者は提出〉

音楽学部志願者以外は全員提出。

11. 音楽学部実技試験／受験曲目申込書(様式H) 〈音楽学部出願者全員提出〉

音楽学部志願者は全員(音楽実技認定制度で実技免除の人も含む)提出。

①記入についての注意事項を参照し、受験曲目等をもれなく記入してください。

②裏面も必ず記入してください。

③入試日をかえて併願する場合は、入試日分の枚数をコピーし、入試日別に記入して提出してください。

④音楽学科プロ・アーティストメジャーに関する記入欄については、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜、実技特別選抜志願者で、プロ・アーティストメジャーに志願する人のみ記入してください。

12. 顧問推薦書〈音楽学部の志願者で、音楽系部活動顧問推薦制度を利用する志願者のみ提出〉〈学校推薦型選抜（公募制）のみ〉

顧問作成の親展封書とし、開封すると無効となります。

13. グローバル特待制度・資格特待制度適用申請書（様式K）〈学校推薦型選抜（公募制）の志願者のうち、希望者は提出〉

学校推薦型選抜（公募制）の志願者で、適用を希望する人は提出してください。（P.10～P.12 参照）

- ①指定された資格の保有を証明する書類（コピー）を同封してください。なお、申請する資格の種類によって、保有を証明する書類が異なるので注意してください。「グローバル特待制度・資格特待制度適用申請書K」の裏面を参照してください。
- ②入学手続後に資格を取得予定の場合、出願時にこの様式を提出する必要はありません。資格取得後、指定の提出期間にこの書式を提出してください。
- ③出願時に該当資格を保有している場合は、まず出願時に申請をしてください。入学手続後、入学までにより上位の資格を取得した場合は、改めて申請をすることができます。
- ④前ページ 9・下記 14 と同一の証明書を利用する場合も別途提出が必要です。

14. 外部英語検定試験の基準を満たすことを示す書類〈一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜志願者のうち、外部英語検定試験を活用する者は提出〉

一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜の「英語」において外部英語検定試験を活用する受験生は、P.42 出願書類に加えて、下記のいずれかの外部英語検定試験の基準を満たすことを示す下記の書類（コピー）を同封してください。

上記 9・13 と同一の証明書を利用する場合も別途提出が必要です。

検定試験	提出する書類（コピー）
実用英語技能検定（英検）	合格証書または合格証明書
GTEC® ※1	OFFICIAL SCORE CERTIFICATE
TOEFL iBT® ※2	Test Taker Score Report または Examinee Score Report
ケンブリッジ英語検定	Certificate（合格証明書）および Statement of Results（結果ステートメント）
IELTS	アカデミック・モジュール成績証明書（Test Report Form）
TEAP	成績表
TEAP CBT®	成績表

※1 GTEC® は4技能のオフィシャルスコアが必要。

※2 TOEFL ITP は対象としない。

下記 15・16 は外国人留学生のみ提出する書類です。

15. 経費支弁書〈留学生は提出〉(様式P)

本学所定用紙をホームページ(受験生応援サイト→入試情報→入学試験要項一覧)からダウンロードしてください。

●経費支弁に関する書類(日本語以外の場合は、原本と日本語訳の両方を提出してください。)

A. 本人負担の場合

- ①本人名義の預金残高証明書
 - ②在職証明書
 - ③課税証明書(年間所得額の記載のあるもの)
- ※②③が提出できない場合、収入や預金の経緯がわかるものを提出してください。

B. 本人以外(両親・親戚等)の負担の場合

- ①経費支弁者が記入した経費支弁書(本学所定用紙)
 - ②負担者名義の預金残高証明書
 - ③負担者の在職証明書
 - ④負担者の課税証明書(年間所得額の記載のあるもの)
- ※③④が提出できない場合、負担者の収入がわかるものを提出してください。

※経費支弁に関する書類の提出期限は、入学手続期限まで延長することが可能です。

(入学手続期限までに書類が揃わない場合は、入学許可書を発行しません。)

- 出願資格を確認するために追加書類の提出を求める場合があります。
- 日本語訳については、日本語学校や大使館、翻訳機関が翻訳した日本語訳、翻訳証明書を提出してください。
志願者本人による翻訳は認めません。

16. 住民票〈留学生は提出〉

本人在住の市区町村役場が発行した原本で、国籍等、在留資格および在留期間が記載されたもの。マイナンバー(個人番号)の記載がないもの。3か月以内に発行されたものに限り。在留カードのコピーは不可。住民登録のない者は、パスポート(氏名、国籍、パスポート No.、発行年月日記載の部分)のコピーでも可。あわせて、入試当日にパスポートを持参してください。

3. 入学検定料

1. 大学入学共通テスト利用選抜

学部等	入学検定料
全学部・全学科	15,000円

2. 大学入学共通テスト利用選抜以外

区分	学部等	入学検定料
大学	教育学部<昼間主>、心理・福祉学部、文学部、人間栄養学部、看護学部	35,000円
	音楽学部	43,000円
	教育学部<夜間主>	25,000円
短大	保育科第一部、総合文化学科	35,000円
	保育科第二部	25,000円

3. 複数の入試を同時に出席（併願）することによる入学検定料の減額について **重要**

- 下記の表の同じグループ内で複数受験する場合、一通の願書で同時に出席することができます。その場合、併願ごとに入学検定料を10,000円減額します。
- 大学入学共通テスト利用選抜は入試日の指定がないので、複数の学科・コースを併願することが可能です。
- グループが異なる入試を一通の願書で出席することはできません。グループが異なる入試を受験する場合は、それぞれ出席書類が必要となり、入学検定料の減額の対象にはなりません。

併願区分	グループ A	グループ B	グループ C
入試区分	①一般A ②大学入学共通テスト利用A	①一般B ②大学入学共通テスト利用B	①一般C ②大学入学共通テスト利用C
入試日	1月26日(日)、1月27日(月)	2月25日(火)	3月10日(月)
入学検定料の減額	同じグループ内で2回受験の場合…入学検定料の合計金額から10,000円を減額 同じグループ内で3回受験の場合…入学検定料の合計金額から20,000円を減額 同じグループ内で4回受験の場合…入学検定料の合計金額から30,000円を減額 ※入試によっては、4回以上の受験も可能。その場合、10,000円ずつ減額します。		

例1：教育学部児童学科（昼間主）を一般選抜と大学入学共通テスト利用選抜で併願する場合

$$\text{一般選抜 } 35,000 \text{ 円} + \text{大学入学共通テスト利用選抜 } 15,000 \text{ 円} - \text{併願による割引 } 10,000 \text{ 円} = 40,000 \text{ 円}$$

例2：人間栄養学部人間栄養学科を一般選抜（A日程2日間）と大学入学共通テスト利用選抜で併願する場合

$$\text{一般選抜（1日目） } 35,000 \text{ 円} + \text{一般選抜（2日目） } 35,000 \text{ 円} + \text{大学入学共通テスト利用選抜 } 15,000 \text{ 円} - \text{併願による割引 } 20,000 \text{ 円} = 65,000 \text{ 円}$$

4. 入学検定料の払い込みについて

Web 出願の入力フォームに必要な情報を入力すると、画面上に必要な入学検定料が表示されます。

表示された入学検定料を、画面の指示に従い、コンビニ、クレジットカード、Pay-easy（ペイジー）で納入してください（Web 出願は、入学検定料の他に手数料がかかります）。

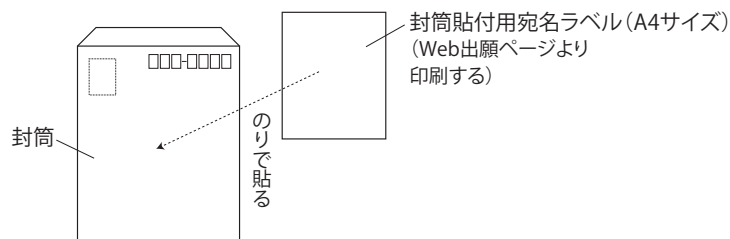
4. 出願方法

1. 出願書類の送付方法について

Web 出願登録をし、入学検定料を支払った後、以下の手順で、出願に必要な書類を提出してください。

- ① 出願に必要な書類全てを、市販の封筒（角形2号：A4の用紙を折らずに入れられる大きさ）に入れる。
- ② 〔重要〕入学検定料を支払った後に、Web 出願ページから「封筒貼付用宛名ラベル」を印刷する。
- ③ 封筒おもて面に、はがれないように貼り付ける。
- ④ 郵便局から、簡易書留速達で郵送する。（本学へ持参も可）

プリンターが無く、「封筒貼付用宛名ラベル」を印刷できない人は、内容を封筒に書き写してください。



2. 出願書類の封入について

- ① 調査書
- ② 入学願書（様式A）
- ③ 活動報告・志望理由書（様式C）

上記の順に並べ、封筒に入れてください。その他の出願書類は上記書類の後に P.42 の番号順に入れてください。

●郵送による提出〔出願締切日必着〕

必要書類一式を同封して、市販の封筒（角形2号：A4の用紙を折らずに入れられる大きさ）のおもて面に「封筒貼付用宛名ラベル」を貼り、郵便局から簡易書留速達郵便で送付してください。なお郵便事情等により日時を要することがあるため、締切日が近くならないうちに余裕をもって発送してください。

●窓口での提出 受付時間 月～金9：00～16：00／土9：00～12：00 ※日曜日・祝日、1月18日（土）を除く。

出願書類一式を市販の封筒に封入し、封筒おもて面に「封筒貼付用宛名ラベル」を貼り、入学センター（クリスタルホール3階）に提出してください。

■他校受験状況について

一般選抜 A 日程・大学入学共通テスト利用選抜 A 日程の合格者で、Web 出願登録の際、他校受験状況で「他校も受験する」を選択した場合のみ、所定の入学手続きの期日までに、合格した学部・学科の入学金相当額だけを納入し、その他の納付金および入学手続き書類は、下表のとおり納入・提出を延期することを認めます（二段階納入制度）。

●他校受験状況と納入方法について

他校受験状況	納入方法
他校を受験しない	入学金とその他納付金を一括納入
他校を受験するが本学を第 1 志望とする	入学金とその他納付金を一括納入
他校も受験する	入学金とその他納付金を分割納入

●「他校も受験する」を選択した場合のその他納付金の納入期限について

入試日程	延期期限日
一般選抜 A 日程	2 月 19 日(水)
大学入学共通テスト利用選抜 A 日程	2 月 25 日(火)

5. 出願上の注意事項

- ①出願書類は、全てそろわなければ受け付けることができません。
- ②一度提出された出願書類および納入された入学検定料は、返還しません。
- ③総合型選抜、学校推薦型選抜（公募制）、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜にわたって同一学科を再受験することができます。
- ④出願後、他の学部・学科・コースに変更することはできません。

6. その他

- ①小学校教諭免許状、幼稚園教諭免許状、保育士資格を取得しようとする人は、基礎的な音楽理論（中学校卒業程度）の学習とバイエル終了程度の正しいピアノの練習をしておくことが望ましい。
- ②入学願書受付後であっても、出願資格および入学願書に誤りや虚偽等があった場合は、出願を取り消す場合があります。

■受験上・修学上の特別な配慮が必要な方へ

心身等に障がいがあり、受験・修学のための配慮を必要とする方は、大学・短期大学および志望学科の3つのポリシー※を事前にご理解いただいたうえで、出願前に申請をしてください。内容により、受験前に面談を実施します。

なお、授業は原則対面授業です。

すべての希望に対応できるとは限りませんのであらかじめご了承ください。

※ 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

申請方法

1. 出願期間前に電話で入学センターに連絡をしてください。
2. 本学所定の書類をダウンロードしてください。（受験生応援サイト→入試情報→入試ガイド・入学試験要項→入学試験要項一覧）
3. 必要事項を記入し、診断書等の添付書類とともに郵送してください。

※出願期間後の申請については、特別な配慮ができない場合があります。

MEMO

■試験当日の注意事項

1. 受験生は、試験開始時刻の30分前までに試験場へ入場すること。受験番号の席に着席し、試験監督の指示を受けること。試験場への入場は、試験開始時刻の50分前から許可する。
2. 受験票は、試験当日必ず持参すること。
3. 受験票を忘れた場合、または紛失等の場合は、試験開始前に受付へ申し出ること。
4. 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後30分以内の試験室入室に限り、受験を認める。
5. 受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、「鉛筆・シャープペンシル（HBまたはB）」「プラスチック製の消しゴム」「鉛筆削り（電動式を除く）」「時計（時計機能のみ）」「眼鏡」とする。
6. サテライト試験場の歩行については、会場によって異なる。P.8・P.9で確認すること。
7. 一般選抜の科目試験は、科目によりマークシート式解答用紙を使用する。マークシートは鉛筆（HBまたはB）でマークするため、必ず持参すること。
8. 辞書類（電子辞書含む）の持込は不可とする。
9. 試験会場内でのスマートフォン・携帯電話等の使用を禁止する。会場内ではスマートフォン・携帯電話等の電源を切ること。
10. 次の行為は不正行為となる場合がある。不正行為となった場合、それ以降の受験はできない。また、既に受験した全ての教科・科目の受験も無効となる。
 - ①カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験生の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
 - ②使用を禁じられた用具を使用して問題を解くこと。
 - ③「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
 - ④「解答やめ。筆記具をおいてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
 - ⑤試験時間中に、答えを教えるなど他の受験生に有利な行為をすること。
 - ⑥試験時間中にスマートフォン・携帯電話等を身につけていること（時計代わりの使用も不可）。
 - ⑦試験時間中にスマートフォン・携帯電話等や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を鳴らすこと。
 - ⑧試験場において他の受験生の迷惑となる行為をすること。
 - ⑨試験場において試験監督等の指示に従わないこと。
 - ⑩その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

■入試過去問題活用宣言について

1. 聖徳大学は、『入試過去問題活用宣言』に参加しています。したがって、必要と認める範囲で、他の参加大学（提供大学）の入試過去問題をそのまま、または一部改変して、本学の令和7年度入試問題として出題する場合があります。
2. 『入試過去問題活用宣言』についての詳細および参加大学の一覧については、『入試過去問題活用宣言』ホームページ <https://www.nyushikakomon.jp/> にて公表しています。

■合格発表（合否確認方法）

- (1) インターネットによる合否照会
Web 出願サイトにて発表します。ログインし、合否を確認してください。
 - (2) 大学から書面での通知等の発送はありません。Web 出願ページで詳細を確認してください。
- ※大学内における掲示での合格発表は行いません。
※判定結果の電話による問い合わせには一切応じられません。
※一般選抜等補欠者の発表について

一般選抜等の合格発表と同時に補欠者を発表する場合があります。補欠者は合格者ではなく、入学手続きに欠員が生じた場合に限り、順次入学を許可します。入学を許可する場合には所定の期日までに、本学から志願者本人宛に電話および文書等で通知します。

■個人情報の取扱いについて

提出された個人情報については、個人情報の保護に関する法律（平成15年5月30日法律第57号）に基づき、本学において適正な管理、保護に努めます。また、提出された個人情報は、入学者選抜試験、合格者発表、入試統計調査およびそれらに付随する業務を行うために使用するもので、それ以外の目的で使用することはありません。

■入学手続について

1. 入学手続の方法

- (1) 合格者は、大学が指定した期日までに「納付金等」を支払い、入学手続に必要な書類を聖徳大学入学センター入試係に郵送し入学手続を完了してください（消印有効）。
- (2) 期限内に上記の入学手続をとらなかったときは、入学許可を取り消されるため注意してください。
- (3) 合格学部、学科、コース等の変更は、認められません。
- (4) 入学時納付金等は、本学と提携する金融機関等での『学費ローン制度』も利用できます。

2. 入学手続に必要な書類

- (1) 誓約書（保証書）個人情報に関する同意書＝本学所定用紙により、本人と連帯保証人の連署が必要になります。連帯保証人は、原則として独立して生計を営む方とし、本学の教育方針に協力し、保証する学生の身上および授業料その他の債務について本人と連帯してこれを保証していただきます。なお、連帯保証人は次の優先順位により届け出るものとします。

1. 日本に在住する親又はその他の親族（父母など）
2. 日本に在住しない親又はその他の親族
3. 1、2ともにいない場合に限り、日本に在住する知人

また、連帯保証人が日本国内に在住していない場合、日本に在住し、次の役割を果たす方を連絡人として届け出るものとします。連絡人は以下の役割を負うものとします。

1. 在学中、本人に諸問題が発生した場合には、本学と連絡を取り合う。また、本学から要請がある場合には本人への連絡等適切に対応する。
2. 本人が勉学活動を将来にわたって中断する等、その目的に応じた本邦滞在が困難となった場合には、適切な方法により休学・退学等について相談相手となる。

※連絡人の例

日本に在住する兄弟姉妹、配偶者又はその他の親族、友人、知人等。できる限り社会人で独立して生計を営み、日本語能力が十分である者が望ましい。

- (2) 学生調査書＝本学所定用紙（必要事項記入）
- (3) 入学手続納付金 振込受付証明書＝本学所定用紙（大学提出用）
- (4) 高等学校の卒業証明書＝入学後のオリエンテーション時に提出。
- (5) 入寮願（入寮希望者のみ）

3. 入学辞退について

入学手続完了後に入学を辞退する場合は、「入学辞退・納付金返還願」の提出により入学手続納付金（入学金以外）を返還します。なお、返還金額（入学金以外の納付金）から手数料を差し引き、指定口座に振り込みます。総合型選抜・各学校推薦型選抜合格者については、専願の主旨に基づき返還の対象とならないため、十分留意した上で入学手続をしてください。

- (1) 入学辞退手続は、令和7年3月31日（月）15時までに完了させてください。
- (2) 入学辞退の手続方法は、Web出願ページの入学手続書類を参照してください。
- (3) 提出された入学辞退の取り消しはできません。
- (4) 納付金の返還手続完了までには約2か月ほど要します。

4. その他

入学許可後であっても入学資格および入学願書に誤りや虚偽等があった場合は、入学許可を取り消す場合があります。

※私費留学生の方へ：入学時には自らの責任において「留学」の在留資格を取得してください。

■入学前学習課題の実施、提出

1. 実施対象者

学校推薦型選抜（公募制）の入学手続き者

2. 入学までの時間を有意義に活用するために、入学後に役立つ実践的な課題を学習し、提出期限までに提出してください（提出期限前の提出可）。大学入学後、必要となる知識のため、すべての問題に取り組むこと。入学手続き完了者には、後日、課題を郵送します。

◎提出された「入学前学習（学習課題）」は、入学する学部・学科の教員による添削指導後返却され、入学に向けての準備に入ります。しかし、学習課題の内容や取り組み状況が不十分な場合は、再提出となる場合があります。

■個別の入学資格審査について

本学では、「高等学校を卒業した人と同等以上の学力がある人」として入学資格認定を必要とする人について、下記のとおり個別の入学資格審査を行います。

1. 個別の入学資格審査の対象

大学入学資格を有していない人で、18歳以上の女性、または令和7年3月31日までに18歳に達する女性。

2. 個別の入学資格審査の日程

受験入試区分	大学入学共通テスト利用選抜	一般選抜
「入学資格審査願書」 受付期間	8月26日(月)～9月2日(月)	11月11日(月)～11月18日(月)
審査結果通知	9月20日(金)	12月23日(月)

3. 提出書類

- (1) 入学資格審査願書 [本学所定の用紙]
- (2) 履歴書 [本学所定の用紙]
- (3) 学習歴等調書 [本学所定の用紙]

1. 志望の理由
2. 学習歴、実務経験等の内容
3. 実績等

※学習歴、実務経験、実績等を証明する書類がある場合は添付してください。

- (4) 卒業・修了証明書(専修学校や各種学校等のもの)
- (5) 成績証明書(専修学校や各種学校等のもの)

※入学資格審査願書等の「本学所定の用紙」については、入学センター入試係に請求してください。

重要

- 証明書が外国語の人は、日本語学校や大使館、翻訳機関が翻訳した日本語訳、翻訳証明書を提出すること。
志願者本人による翻訳は認めない。

4. 審査方法

提出された書類により審査します。必要に応じて面接を実施する場合があります。

5. 審査体制

入学資格審査委員会の審議を経て、学長が認定します。

6. 審査基準

- (1) 高等学校課程に相当する課程等を卒業した人、または卒業見込の人については、当該学校の教育内容が高等学校学習指導要領に準じているかを精査し、高等学校卒業と同等以上の学力があるかを審査します。
- (2) 上記以外の人については、学習歴および社会での実績等について精査し、高等学校卒業と同等以上の学力があるかを審査します。

7. 認定書の交付

審査の結果、入学資格認定者には認定書を交付します。

8. 入学資格審査において認定された場合の出願について

入学資格審査において認定された場合は、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜への出願となります。

〈問い合わせ・資料請求先〉

聖徳大学 入学センター入試係

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 TEL.047-366-5551 (直通)

■ 納付金・奨学金

(2024年度実績)

※授業料その他納付金の金額は、物価の高騰や賃金の水準の上昇等の状況に鑑みて改定する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

○学費

大学

(単位：円)

	教育学部		教育学部		心理・福祉学部		文学部	人間栄養学部	看護学部	音楽学部
	児童学科		教育学科		心理学科	社会福祉学科	文学科	人間栄養学科	看護学科	音楽学科
	昼間主	夜間主	昼間主	夜間主						
入学金*	250,000	240,000	250,000	240,000	250,000	250,000	250,000	250,000	300,000	300,000
授業料	340,000	275,000	340,000	275,000	340,000	340,000	340,000	395,000	550,000	550,000
施設費	150,000	50,000	150,000	50,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	180,000
教育充実費	140,000	50,000	140,000	50,000	125,000	125,000	130,000	170,000	140,000	165,000
学生諸費	68,660	64,760	83,660	79,760	73,660	93,660	103,660	106,200	178,000	83,660
学外研修Ⅰ費	34,000	34,000	34,000	34,000	34,000	34,000	34,000	34,000	34,000	34,000
基礎学力向上費	5,000	3,000	5,000	3,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
実習費	—	—	—	—	—	—	—	—	50,000	—
オリエンテーション経費*	25,000	25,000	40,000	40,000	30,000	50,000	60,000	50,000	50,000	40,000
学生教育研究災害 傷害保険料(4年分)*	4,660	2,760	4,660	2,760	4,660	4,660	4,660	4,660	(※1) 18,000	4,660
抗体価検査費(※2)	—	—	—	—	—	—	—	12,540	21,000	—
入学手続時合計	948,660	679,760	963,660	694,760	938,660	958,660	973,660	1,071,200	1,318,000	1,278,660
1年次秋学期分	669,000	412,000	669,000	412,000	654,000	654,000	659,000	754,000	929,000	934,000
1年次納入金合計	1,617,660	1,091,760	1,632,660	1,106,760	1,592,660	1,612,660	1,632,660	1,825,200	2,247,000	2,212,660
2年次納入金合計	1,270,000	756,000	1,270,000	756,000	1,240,000	1,240,000	1,250,000	1,440,000	1,790,000	1,800,000
3年次納入金合計	1,355,000	830,000	1,355,000	830,000	1,325,000	1,325,000	1,335,000	1,587,540	1,926,000	1,895,000
4年次納入金合計	1,350,000	830,000	1,350,000	830,000	1,320,000	1,320,000	1,330,000	1,570,000	1,900,000	1,890,000

*印は、入学手続時のみ納入

(※1) 看護学部は、総合補償制度 Will(日本看護学校協議会共済会)に加入。

(※2) 抗体価検査費(麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、B型肝炎等)

<上記に含むもの>

- 課外講座費(就職)(3年次)
- 卒業関連費(3年次より)
- 人間栄養学部・看護学部 抗体価検査費(3年次)

<上記に含まれないもの>

- 海外研修積立金(1年次秋学期より)
- 海外研修における燃油サーチャージ等(実施年次納入)
- 課程履修費(免許状や資格を取得する場合)(入学後履修時に納入)
- 各学生会費(学友会・香和会・後援会)の代理徴収(入学手続時に納入)
- 大学への納入とは別に、フォーマルスーツ代、教科書代等

短期大学

(単位：円)

	保育科		総合文化 学科
	第一部	第二部	
入学金*	250,000	180,000	250,000
授業料	360,000	28,500	340,000
施設費	150,000	8,700	150,000
教育充実費	140,000	8,700	110,000
学生諸費	94,430	40,920	94,430
学外研修Ⅰ費	34,000	5,300	34,000
基礎学力向上費	5,000	500	5,000
卒業関連費	20,000	—	20,000
オリエンテーション経費*	33,000	33,000	33,000
学生教育研究災害 傷害保険料(2・3年分)*	2,430	2,120	2,430
入学手続時合計	994,430	266,820	944,430
1年次秋学期分	714,000	(5月以降月額) 49,300	664,000
1年次納入金合計	1,708,430	809,120	1,608,430
2年次納入金合計	1,532,000	657,000	1,460,000
3年次納入金合計		651,000	

<左記に含むもの>

- 課外講座費(就職)(1年次秋学期)
- 学外研修Ⅱ費(2年次)
- 保育科第二部 卒業関連費(2・3年次)

<左記に含まれないもの>

- 総合文化学科 実習費(コース等別)(1年次秋学期より納入)
- 課程履修費(免許状や資格を取得する場合)(入学後履修時に納入)
- 各学生会費(学友会・香和会・後援会)の代理徴収(入学手続時に納入)
- 短大への納入とは別に、フォーマルスーツ代、教科書代等

*印は、入学手続時のみ納入

参考

- 学友会費：4,300円(入会金300円、年会費4,000円)(夜間主、第二部除く)
- 香和会費：10,000円(卒業年次に終身会費20,000円納入)
- 後援会費：60,000円(入会金20,000円、年会費40,000円)第二部のみ65,000円(入会金20,000円、3年分会費45,000円)
- フォーマルスーツ代 41,360円(税込)

○課程履修費 (2024年度実績)

入学後、免許状や資格を取得する場合、課程履修費を納入することになります。

(単位：円)

聖徳大学 (教育学部、心理・福祉学部、文学部、人間栄養学部、看護学部、音楽学部)					
保育士資格	60,000	学芸員資格	60,000	精神保健福祉士受験資格	60,000
幼稚園教諭一種免許状	40,000	社会教育主事任用資格(社会教育士)	50,000	養護教諭一種免許状	40,000
小学校教諭一種免許状	60,000	日本語教員養成講座	60,000	栄養教諭一種免許状	20,000
中学校教諭一種免許状 ※ 1	60,000	社会福祉士受験資格	60,000	小学校教諭二種免許状	30,000
	40,000	音楽療法士一種	30,000	特別支援学校教諭一種免許状	30,000
高等学校教諭一種免許状 ※ 1	60,000	レクリエーション・インストラクター	20,000	公認心理師受験資格	45,000
	40,000	キャンプインストラクター	20,000	介護福祉士受験資格	100,000
図書館司書	20,000	介護等体験実習費 (小・中免)	10,000		
学校図書館司書教諭	20,000	保健師受験資格	60,000		

※ 1 学科によって、課程履修費は異なります。

(単位：円)

聖徳大学短期大学部 (保育科、総合文化学科)							
保育士資格	60,000	秘書士	40,000	図書館司書	20,000	幼稚園教諭二種免許状	30,000
観光実務士	20,000	ビジネス実務士	40,000				

○奨学生・奨学金 (2024年度実績)

	対象	名称	種別	金額等	概要
聖徳大学・聖徳大学短期大学部独自の制度		在学特別奨学生	給付	I種：当該年度の授業料の半額を免除 II種：当該年度の授業料の1/3を免除	経済的に修学困難な学生を対象に、在学中の学業成績が特に優れ、かつ人物優秀な学生を在学特別奨学生として選考し、授業料の減免により、経済的な負担の軽減を図ります。出願にあたっては、成績基準、取得単位数、履修状況、連帯保証人又は学費支弁者の収入基準などの条件があります。また、入試等による授業料免除が適用される場合は併給できません。
		学校法人東京聖徳学園修学支援			「大学等における修学の支援に関する法律」に基づく「高等教育の修学支援新制度」と同等の修学支援制度です。
		聖徳大学後援会助成金	貸与	校納金の一部 (最終学年のみ)	経済上の理由により校納金の納付が困難になった場合、その学生に学業を継続させるため校納金の一部を貸与します。
		聖徳学園川並奨学金	給付	諸外国より聖徳大学大学院・聖徳大学・聖徳大学短期大学部に入学する学生に対する奨学助成 諸外国に留学する聖徳大学大学院・聖徳大学・聖徳大学短期大学部の学生に対する奨学助成	継続的に国際社会に適用する優れた人材を育成することを大きな目的とする奨学金です。
外部団体制度	在学	日本学生支援機構奨学金	貸与	第一種奨学金(無利子) 大学院(博士後期) 80,000円または122,000円 大学院(修士・博士前期) 50,000円または88,000円 大学(自宅通学) 20,000円、30,000円、40,000円、54,000円 (自宅外通学) 20,000円、30,000円、40,000円、50,000円、64,000円 短大(自宅通学) 20,000円、30,000円、40,000円、53,000円 (自宅外通学) 20,000円、30,000円、40,000円、50,000円、60,000円 第二種奨学金(有利子) 大学院 50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円 大学・短大 20,000円、30,000円、40,000円、50,000円、60,000円、70,000円、80,000円、90,000円、100,000円、110,000円、120,000円 申込者が選択する。	4月上旬に奨学金制度について説明会を行います。本学奨学金選考委員会にはかり、適格者を日本学生支援機構に推薦します。同機構では、本学からの推薦書類をもとに奨学生を決定します。制度の内容については、日本学生支援機構のホームページでご確認ください。 https://www.jasso.go.jp/
				保育士・看護師・介護福祉士等の修学資金	
		病院奨学金制度		看護学部に関する病院奨学金制度を設定している病院などが多数あります。給付・貸与の金額や返済免除など種類や内容も多岐にわたっています。	
		各種奨学金		地方公共団体(各都道府県、市町村)の奨学金や企業その他育英団体の奨学金など数多くあります。募集にあたっては、奨学団体が直接行うものと、大学を通じて行うものがあります。大学を通じて募集依頼のあったものは提示していますが、大半は大学を通さず募集されますので、各自、地元の教育委員会などに問い合わせるようにしてください。	

●このほか、学費ローンとしてオリエントコーポレーションと提携した学費ローン制度オリコ「学費サポートプラン」や、日本政策金融公庫「国の教育ローン」があります。

■ 提携ローン

本学では、「株式会社オリентコーポレーション」と提携し、入学予定者、在学学生を対象とした『学費ローン制度』を設置しています。

本制度は、低利で「株式会社オリентコーポレーション」から学費等納付金の「学費ローン」を受けられるもので、聖徳大学で学ぶ意思がありながら、経済的理由により修学が困難な学生に対して、経済的負担を軽減することを目的としています。

申込み手続の方法、審査期間等については、下記へお問い合わせください。

なお、申込みを行う際には、返済計画を考慮し、慎重に判断してください。

学費ローンに関する問い合わせ先

オリコ『学費サポートプラン』について

株式会社オリентコーポレーション 学費サポートデスク

TEL.0120-517-325 (フリーダイヤル) 営業時間：9：30～17：30 (土日祝休)

ホームページ <https://orico-web.jp/gakuhi/index.html>

(ホームページからお申し込みいただけます)



■ 「国の教育ローン」(日本政策金融公庫)

「国の教育ローン」は、大学・短大等に入学・在学するご家庭を対象とした公的な融資制度です。入学に際し、入学手続期限もあり、資料請求等に時間がかかりますので、事前にご相談、お問い合わせをしていただき、準備をお願いいたします。

ご相談・お問い合わせ先

教育ローンコールセンター

TEL.03-5321-8656

受付時間 9：00～19：00

(土日祝日 年末年始を除く)

ホームページ

<https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

(ホームページからお申し込みいただけます)



■ 学生生活 (フォーマルスーツ)

フォーマルスーツの着用については、本学の人間教育の一環として礼節をわきまえた身だしなみ、マナー習得、また品位のある服装を着こなすことによって、個性の豊かさを養うことを目的としています。

女性誌「Ray」と本学のコラボフォーマルスーツプロジェクトとして平成29年度の新入生よりデザインを一新しました。

式典や聖徳教育等でフォーマルスーツ着用を義務付けています。ただし、次の①～⑥に該当する方は、フォーマルスーツにかえてこれに準ずる黒または紺のスーツ (白のえり付きブラウス・スカート・パンツ) を着用することを認めています。校章は常時身につけてください。

- ① 満25歳以上 (令和7年4月1日現在) の学生
- ② 学士入試、社会人特別入試で入学した学生
- ③ 専攻科生
- ④ 科目等履修生
- ⑤ 特別聴講生
- ⑥ 大学院生

■ 学生寮

本学は、建学の精神「和」にもとづき、多様性を受容し、しなやかに新たな価値を創造する力を備えた人材を育成することを目指す女性総合大学です。本学の学生寮は、その目標を達成するために、寮生活を通して人間教育を実践する「教育寮」としての特徴を持っています。寮生活を通して、友情、チームワーク、主体性、規律性など、現代社会で求められている「人間力」を培うことができます。そのような観点から、自宅から通学できない方や自宅通学が可能な方も本学の学生寮への入寮をお勧めしております。

なお、入寮が難しい方や入寮希望者が定員を超えて入寮できない場合については、学生会館・学生マンション等への斡旋を含め、保証人と連携のもと自宅外の対応をいたしますので、学生支援課までご相談ください。

※教育学部児童学科夜間主・教育学科夜間主・短期大学保育科第二部生は入寮できません。

学生寮費用（2025年度予定）

寮費、食費および維持費は、春・秋学期に分けて納入します。金額については次のとおりです。（単位：円）

寮名	総定員	一室の定員	入寮費	寮費* (春学期納入分)	食費* (春学期納入分)	維持費* (春学期納入分)	入寮時 納付合計
相模台寮(1人部屋)	59名	1名	200,000	339,000	176,500	128,500	844,000
相模台寮(2人部屋)		2名	200,000	318,500		128,500	823,500

●所定の手続きより、分割納入も可能です。●*印の費用は消費税が含まれています。●入寮費は入寮時のみ納入。●食費は、開寮期間中（原則として授業期間中）の朝夕2食とし、日曜・祝日にも提供します。●維持費は学生の使用する光熱・水道料そのほかの諸費用です。

※寮費その他学生寮費用の金額は、物価の高騰や賃金の水準の上昇等の状況に鑑みて改定する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

(注) 1 在寮期間は、原則として2年間ですが、大学生は希望により、卒業年次まで在寮できます。

(注) 2 学寮の目的、実情等の理解のため、保証人同伴のうえ入寮予定者の面接を行うことがあります。

学生寮所在地

●相模台寮 …… 千葉県松戸市岩瀬434-4 …… 大学まで徒歩約5分

■ 昼間主と夜間主の授業等について

(1) 教育学部児童学科〈夜間主〉、教育学科〈夜間主〉の授業は、月曜日～金曜日（18：00～21：10）、土曜日（13：00～21：10）に行われます。また、長期休業期間には、集中講義方式等を採用しています。

短期大学保育科第二部の授業は、月曜日～金曜日（18：00～21：10）、土曜日（14：45～21：10）に行われます。

なお、現場での教育実習等は、昼間に実施されます。

(2) 教育学部児童学科〈昼間主〉、教育学科〈昼間主〉は、夜間の開講科目を一部履修することができます。教育学部児童学科〈夜間主〉、教育学科〈夜間主〉は、卒業に必要な単位を夜間および土曜日昼間の授業で修得することになります。また、昼間開講の授業から卒業所要単位の半分を上回らない範囲まで単位を修得することができます。ただし、免許状・資格の取得には、月曜日～土曜日の昼間の授業を履修しなければ単位が修得できない場合があります。

■ 長期履修学生制度＜短期大学＞

短期大学の修業年限を3年間または4年間に延長して働きながら、ボランティア活動をしなから、育児・介護などをしながら、一人ひとりのペースに合わせて計画的に学ぶことができる制度です（保育科第二部は除く）。

※長期履修学生制度を希望する人は、「長期履修申請書」を取り寄せ、出願時に提出すること。詳細は入学センターまでお問い合わせください。

長期履修学生の学費（2024年度実績）

（単位：円）

	修業年限	授業料	施設費	教育充実費
保育科第一部	長期履修3年	240,000	150,000	119,500
	長期履修4年	180,000	150,000	109,000
総合文化学科	長期履修3年	227,000	150,000	94,500
	長期履修4年	170,000	150,000	87,000

（注1）半期分の金額（年2回納入）となります。

（注2）上記の他、入学金・学生諸費等を納入していただきます。

※授業料その他納付金の金額は、物価の高騰や賃金の水準の上昇等の状況に鑑みて改定する場合がありますので、あらかじめご了承ください。



自立するチカラをはぐくむ女性総合大学。

聖徳大学

聖徳大学短期大学部

SEITOKU

●お問い合わせは入学センターまで

受験相談
フリーダイヤル

 **0120-66-5531**

【ホームページ】 <https://www.seitoku-u.ac.jp/>

TEL.047-366-5551(直通) FAX.047-366-5553

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 TEL.047-365-1111(大代表)

受験生
応援サイト

<https://ouen.seitoku.ac.jp/>



UNIVERSITY
ACCREDITED
2022

聖徳大学は、「一般財団法人 大学・短期大学基準協会」による第三者評価(機関別認証評価)の結果、「適格」と認定されました。



ACCREDITED
2019

聖徳大学短期大学部は、「一般財団法人 短期大学基準協会(現 一般財団法人 大学・短期大学基準協会)」による第三者評価(機関別認証評価)の結果、「適格」と認定されました。